

その他の建設業－その他における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	1	11～12	地面から1m50cmの高さの岸壁で、オビタルサンダー500gの重さで手のひらの大きさの機械で船のペーパーかけをやっていた時に、ペーパーをかける所で体をかわした時に腰がグギっとなってぎっくり腰になり、転んで脳震盪を起こした。	25	921	19	1～9
2017	1	14～15	現場へ向かう際、道を間違えてしまったためUターンしようとしたが、道幅が狭いためミラーを折りたたんで何度か切り返しをして戻ろうとしたが、その際にバックしすぎてそのまま後ろから約5m程の崖下に落下した。	56	419	1	1～9
2017	1	16～17	事業所倉庫内で、貨物車の荷台から油圧機械（約300kg）を降ろす作業中、機械キャスターのブレーキを掛け忘れ、機械が荷台から落ちそうになり、支えきれず、荷台から落下した際に両手を挟まれ指を負傷した。	33	221	4	—
2017	1	11～12	工場内の塩ビプレート置き場にて、立てかけてある内側のプレートを取るために押さえていたところ、体勢が崩れてプレートが左脇腹に当たる。	34	529	3	30～49
2017	1	10～11	倉庫内を片付け中に、仮置きしていた鉄筋に引っかかり転倒、置いてあった角材に左背中を強打した。自力で歩行等は出来るものの痛みが酷く、背中側2番目の肋骨が骨折していることが分かり、全治1ヶ月程度にて安静が必要になった。	67	521	2	30～49

2017	1	16～ 17	駐車場敷地内で太陽光設備設置中にパネルを運ぶ際、脚立の2～3段目あたりで足を踏み外し、転落してしまった。	60	371	1	1～ 9
2017	1	10～ 11	段付きの標識5m柱（約40kg）を設置するため、地面に横にしてあった柱を起す際、バランスをくずし腰に負担がかかり、激痛に襲われながらも柱を45度まで持ち上げる作業を続け、そのあと動けなくなった。	40	921	19	—
2017	1	7～8	会社の敷地内でトラックから材料の荷下ろしを一人でしていたところ、材料の重さや長さの確認を怠ったため加減が分からず、引っ張った際に荷台から荷物が外れて左手の親指の先に落ち、そのまま肘をついたため左手首を骨折した。	51	611	4	10～ 29
2017	1	19～ 20	階段を両手に重いゴミ袋を持って下りていた時、踊り場で全体重が右膝にかかり転倒した。	61	413	2	30～ 49
2017	1	13～ 14	現場から事業場に戻ってきた際、自動車から降車しようとして躓いて転んだため負傷した。	58	417	2	1～ 9
2017	1	9～ 10	片付け作業中、積んである石材を移動中に荷崩れを起こしてしまい、右足に落ちて怪我してしまった。	50	222	5	—
2017	1	11～ 12	外壁ぬり替えのための足場で作業中、横向きで移動していたため段差（80cm）があるのに気づかず、足を踏みはずして80cm下の足場に落下し、負傷した。	72	411	1	—
2017	1	16～ 17	事業所敷地内の倉庫解体工事にて、作業に障害の出る木を伐採し、更に小割にするためチェーンソーを使用していた際、チェーンソーが引っ掛かり跳ね、右足の膝部分に当たり深く切創し負傷した。	26	136	8	—
2017	1	8～9	会社置場で片付けの為足場材吊り込み（ユニック車使用）時、材料に吊りチェーンを掛けたが（左手で）右手にラジコンを握っており、誤って荷上げ操作をし、チェーンと材料の間にあった左手中指先端がはさまり骨折した。	48	212	7	—

2017	1	14~ 15	当社作業場で工事に使用する木杭を作製している時、丸ノコで木杭の先端を細く切っていたら、木杭が丸ノコに引っ張られてしまい、木杭を持っていた右手甲を丸ノコで切ってしまった。	35	131	8	1~ 9
2017	1	13~ 14	事務所内で書類を探しながら狭い所を右から左へ移動している時に15cmの段差に気がつかず転倒し、その際に電話を待っていたため、腰から転んでしまった。	61	417	2	10 ~ 29
2017	1	16~ 17	駐車場で片付けをしていて、ブロックが落下し、足の甲にあたる。	46	529	4	1~ 9
2017	1	12~ 13	当社倉庫にて、倉庫の片づけの作業中、段から電気工事の作業に使うスチール（1m位）を取り出す際に、スチールが跳ねて先端についている金具が左目に当たり負傷した。	49	611	4	1~ 9
2017	1	9~ 10	現場作業所受入コンベヤにて、エプロン取付作業中、エプロンの両端を2人でそれぞれ持ち、所定箇所にセットしようとしたところ、片側がアタッチメントに乗らず落下し、もう一方の片持ち状態になった。その際、もう一方側を持っていた被災者の左手示指と中指が、隣に仮置していたエプロンとの間に挟まれ負傷した。	47	521	4	—
2017	1	14~ 15	外構工事にてカーポートを組み立て中、脚立の上でバランスを崩して転落し、両足かかと粉碎骨折を負った。	63	371	1	1~ 9
2017	1	11~ 12	業務中、現場から次の現場に移動中、トイレに行く為にコンビニに立ち寄り、駐車場に前向きで車を停止した事を確認し、助手席から降り、車の前を歩行していた所、突然運転手が操作ミスでタイヤ止めを乗り越え突進し、右膝・腰を強打し、店舗前にあった強化プラスチックケースに挟まり圧迫され打撲した。なお、運転手は同僚であった。	50	231	6	—
2017	1	9~ 10	自社工場内に於いて、台の上でマグネット式の厚さ4mmのゴム板を右手で押さえ左手に持ったカッターナイフでカットする作業中に手が滑り、右手人差し指を削ぐようにして切った。	32	364	8	10 ~ 29

2017	1	14~ 15	台所に450角の天検口を取り付し、作業を終了後、作業所の片付けをしていた。作業所内の便所を出る時、段差（23cm）を右足を下ろした時に捻挫したと思ったが、腫れが生じ、右足首のくるぶしの下と小指のつけ根を骨折していることが判明した。	49	418	19	—
2017	1	14~ 15	解体現場にて解体作業中、1500cm~2000cmほどのコンクリート塀が倒れてきて、両手で支えたが重さに耐えられず、手をはなして逃げようとしたが、塀が倒れて足を挟まれ負傷した。	19	418	5	1~ 9
2017	1	11~ 12	当社工場において、作業長と2名で在庫鉄板の整理中、運搬していた鉄板（9t×450×500）を持ち上げた時、手を滑らせ右足甲部に落下し、親指母指基節部を骨折した。	30	611	4	10 ~ 29
2017	1	13~ 14	測量をする作業において、アスファルトに金づちで目印になる測量鋏（メジャーネイル胴部径5mm×頭部径9mm×長さ40mm）を打ち込んでいたところ、鋏の頭部が欠けて右目に飛び込み、受傷した（ヘルメット、安全靴着用）。	52	521	4	1~ 9
2017	1	11~ 12	当社倉庫で型枠作成のため、立てかけてある合板を取り出していたところ、手前の合板が倒れてきた。とっさに横に逃げた際に横向きに転倒し、頸椎損傷を負った。	67	417	2	—
2017	1	12~ 13	新築工事地質調査ボーリング工事現場において、ロット巻き上げ作業の際、作業手順ではワイヤードラム回転部の駆動を止める必要があったがこれを失念し、右手を回転部近くに置いていたため、ゴム手袋の先がワイヤードラム回転部に巻き込まれ、右示指・中指を負傷した。	45	121	7	1~ 9
2017	1	9~ 10	当社の倉庫内に於いて、床に置いたままの業務用空調機室外機を片付ける為、当社社員がフォークリフトにのせ荷物用パレットに載せ様とした時、リフトに載せた室外機が不安定だったので、別の社員2名が左右から補助的に支えながら移動作業を行った。補助的に支える作業そのものが危険作業であるにも係らず、安全確認および注意を怠りリフトを前進させた為、フォークリフトの右前輪で社員の左	29	222	7	1~ 9

			足親指のつま先を踏んでしまった。				
2017	1	16~ 17	土捨場の場内にて、4tユニック車で資材の片付けをしている時に、コンクリート基礎（45×45×45cm）をワイヤーで吊り上げようとした時に、ワイヤーを持ってしまいコンクリート基礎の間に挟まれ、左手親指を骨折した。	20	372	7	—
2017	1	14~ 15	工場にて、社長と二人で倉庫内の工具（チェンブロック、レバーブロック等）を整理している際、チェンブロックが何かに引っ掛かり、強引に手前に引いたとき、スコタンして後方に転倒して、真後ろにあった工具棚の鉄骨で腰を強打した。	33	379	1	1~ 9
2017	1	10~ 11	会社倉庫内で、脚立に乗り高さ約2m上の棚からかっぱを取ろうとし、脚立を登ぼっている途中でバランスをくずし、脚立の上から落下し、右足くるぶしを骨折した。	30	371	1	—
2017	2	15~16	会社の資材置場で片付け作業中、移動式クレーンで単管を移動していた。吊り上げロープを持っていたところ後から呼ばれたので、振り向いたところ、ワイヤーが吊り上がった。手をはなすのが一瞬遅れて靭帯が伸びた。	42	212	19	1~ 9
2017	2	11~12	建物解体工事の作業中ユニック車に柱の積込作業をしている時、柱が振れ、作業員のヘルメット（頭部）にあたり、首を痛めた。	18	212	6	—
2017	2	15~16	採取場で舗装をしている時、合材が長靴に入り火傷をした。	63	529	11	—
2017	2	9~10	工場内に非常照明器具を増設工事中に6尺脚立では届かなかった為、梯子作業を行っていた。床は石材で、滑りやすいことは認識があり、当初は二人作業で支えていたが、上部作業員が材料取りを指示し支えの作業員が離れた時に上部作業員が手を休めずに作業して梯子が滑り梯子ごと落下してしまい、左膝の半月板を骨折してしまった。	47	371	1	1~ 9
2017	2	14~15	見積り依頼があり、終了して会社に戻る途中、狭い道路で対向車とのすれ違い時、対向車のスピードが速く道路沿いの駐車場に停まっ	27	221	17	—

			ている車にぶつかり、その衝撃で首を痛めてしまった。				
2017	2	16~17	倉庫地内にて高木の枝木の樹木剪定作業をするため、二人が梯子を支え一人が梯子に登り剪定作業を行っていた時に、支えていた一人が手を離してしまい、梯子が傾き半回転し、再度元に戻った時に、梯子と木の間に右手首を挟んで負傷した。	42	371	7	1~ 9
2017	2	11~12	解体工事現場で廃材の分別作業をしていた際に、ブルーシートに残っていた雪に足を滑らせて転倒し、左側頭部を廃材にぶつけて挫創した。	49	719	2	—
2017	2	9~10	敷地内倉庫で、倉庫の屋根（折板屋根）を塗装しようと、3.5のはしごを樋を立て掛けたところ、不安定だった為はしごを樋に縛りつけようと登り、縛ろうとした時にバランスが崩れ、落下した。そして右足かかとと腰を負傷した。	23	371	1	—
2017	2	13~14	解体した家屋の木材をトラックの荷台に載せる作業をしていたところ、バランスを崩してしまい、木材とともに地面に落下し、両脚太ももを骨折し、尿道が切れ、下半身全体を強打した。	45	221	1	—
2017	2	10~11	被災者は、3階にてOAフロア材の移動を2名で行っていた。OAフロア材を下ろそうとしたが、ハンドパレットがパレットから抜けず、2台目のハンドパレットを用意した。一本だけ差し込んで上げたところ、荷を押さえていた被災者の右足に、OAフロア材（600kg）が荷崩れし被災した。	24	362	5	1~ 9
2017	2	17~18	工事作業現場から会社に戻るために社用車を運転し、交差点にて信号待ちで停車していたところ、後続車に追突される。その際、首・腰・背中に強い衝撃を受け負傷した。	37	231	17	—
2017	2	10~11	敷地内でテントのシート張替作業中に突如、突風シートの一部がめくり上りそれを直そうとトラスの柱をよじ登り、めくり上ったシートを下に引っ張っていたところ、足が滑り高さ1.5mから落下した。着地は上手くしたが、基礎のコンクリートの角にふくらはぎをぶつけて打撲した。	46	419	1	30 ~ 49

2017	2	14~15	可動式日除け取り付け工事で、踏み台の上（2尺高脚立）で作業し、チューブ取り付け前の余り部分の切断作業をカッターで行っていたが切断できないため、力を込めた時、誤って自分の左手親指付近にカッターを刺してしまった。	19	364	8	—
2017	2	15~16	4tダンプにバックホウを積み込み、ダンプのあおりを戻す際、思ったよりも勢いよくあおりが戻ってしまい、誤って右手を挟み負傷した。	55	221	7	50 ～ 99
2017	2	10~11	施行作業中にアスファルトフィニッシャー左部より、足を滑らせてしまい、40cm程低くなっている側溝へ落下し、2ヶ所骨折の負傷となる。	43	149	1	10 ～ 29
2017	2	10~11	自社のモータープールにて、H型鋼の修理作業中、機械がずれたためH型鋼と機械の間に右手を挟まれ負傷した。機械を操作した者から被災者の手が死角で見えておらず、機械を動かしてしまった。	24	149	7	10 ～ 29
2017	2	13~14	フィルムの剥離作業に従事していた。右手に持った噴霧器の位置を整えるためスクレーパーを持っている左手で位置を整えようとした際に手元が狂いスクレーパーを右手に落下させ負傷した。	34	364	4	—
2017	2	10~11	会社加工場において、階段の補助を加工（木材加工）していた。台鋸で細いベニヤを引割っていた。ベニヤ1800?最後の根元がずれた。押さえていたベニヤがずれて台鋸の刃に触れて負傷してしまった。	27	131	8	10 ～ 29
2017	2	9~10	浴室改修現場で電気給湯機基礎の型枠を組む為に、木材を丸ノコ電気工具にて、加工中、左手で木材を押さえていたところに誤って、右手で持っていた機具がキックバックし、ミスをした為、押さえていた左手に接触し左中指と、左薬指を骨折した。緊急手術が必要だった為、すぐに病院にて手術を行った。	43	131	6	—
2017	2	9~10	当社溶接作業場にてグラインダーを片付ける時に誤ってスイッチが入ってしまい、左手甲の親指付け根をグラインダーで傷つけてし	34	153	8	—

			まった。				
2017	2	12~13	敷鉄板上スロープ（勾配約7%）部分にポンプ車を停めていた。コンクリート打設が完了し、移動の準備をしていた。ブームを完全にたたみ、前輪に輪止めを両輪に設置し、アウトリガーを畳んだ。その後、後方のジャッキを戻している最中に、輪止めごと車が動き出した。戻り切っていなかったジャッキの足元と敷鉄板に右足を挟まれた。	47	149	7	1~ 9
2017	2	17~18	高所作業車のステージで4人で作業をしていた。地上で打ち合わせをしようと、ステージを定位置に降ろした。車輛のステップを使って降りようとした時に、地上約1.5m位の所でステップを踏み外して地上に落下して頭を地面に打った。	60	146	1	1~ 9
2017	2	13~14	自社工場内において、看板取付け工事に行く為の準備作業中、壁面の目の高さに掛けてあった梯子を下ろそうとして転んだ。	46	417	2	1~ 9
2017	2	16~17	タワーダクト内で耐火物の解体作業終了後、足場上から解体工具のブレーカーを片付けている時、1段上の足場上から10Kブレーカー（約10kg）が落下して右肩に当たり被災した。	51	391	4	1~ 9
2017	2	14~15	当社倉庫前で、単管足場の組立部材の片付作業中、軽トラックの荷台からバケツに入れたクランプを降ろす時にジャッキベース（長さ60cm、幅4cm、重さ5kg位）がバケツに引っ掛かり落下し、左足に当たった。ひどく痛んだが、出血は無かったので当日は帰宅し湿布薬を貼付した。翌日は自宅で休養した。翌々日に病院へ行ったところ、左足小指の第一関節から指先部分で完全に骨折していた。	67	521	4	1~ 9
2017	2	8~9	倉庫内に、工事関係で借りていた敷鉄板（L1828×W914×T22、289kg）を戻す為、敷鉄板を積載した2tダンプをバックで入れ、天井クレーンで敷鉄板を荷下ろしする際、ダンプ後部のスペース（約2m×3m）に、相手方が厘木を2本並べ、その上に下す手助けをしていたが、厘木の位置が思ったより左右に広く、厘木の位置が見えなかった為、敷鉄板の端部を持っていた左手	56	211	7	1~ 9

			示指を厘木と敷鉄板の間に挟まれ負傷した。				
2017	2	16~17	会社敷地内で、剪定作業をしていたところ、バランスを崩し、脚立から転落し負傷した。	65	371	1	—
2017	2	16~17	5番ゲートの屋外でW8100×H1200のバナー5九尺脚立にのぼり、高さ4mに横張りしているワイヤーに吊り込みを行っている最中、脚立がグラつき身体のバランスが崩れ、そのまま一緒に傾き始め、一度ワイヤーに手を掛けたが、身体が傾いた状態で落下し左足かかとを骨折した。	40	371	1	1~ 9
2017	2	15~16	公園内通路側溝公園下の側溝部分を草刈作業中、草刈機が側溝に接触し、跳ねて自分の左足小指部分を切る。	67	169	8	10 ~ 29
2017	2	9~10	防液堤内の上塗り塗装をするために被災者が掃除機を使用中に不注意で苛性ソーダ貯留槽のドレン管に掃除機を接触させ、亀裂が入り、タンク内の苛性ソーダが噴出し、顔に当たったため眼球内に液が入った。	32	519	3	10 ~ 29
2017	2	10~11	休憩をして現場に戻る時に事務所から出る時に飛び降りた時バランスを崩し踵から落ちた。	45	417	3	1~ 9
2017	3	10~11	樹木植栽工事中、庭から駐車場へ移動の際、掘削中の穴に足をとられ、顔から転倒し裂傷を負った。	45	711	2	1~ 9
2017	3	14~15	建物解体現場にて、2階のコンクリート部分を建物から切り離す作業をしていた際、コンクリートの塊と一緒に2階部分から落下し、全身を強く打ち負傷した。	43	145	1	1~ 9
2017	3	16~17	機材センター内でシート片付作業中、足元の段差に気づかず足を置き足首を捻り、足首を負傷した。	61	416	19	1~ 9
			アンモニアタンクA内で作業員4名+客先1名とMT・内圧を実施中、Bタンクにローリーが果てアンモニアを充填した。充填後にローリーからBタンクへのホース内に残ったアンモニアを希釈槽へ廃棄処理の				10

2017	3	10~11	ためパージを実施したところ、希釈槽とAタンク間は配管がつながっており、バルブが閉まっていなかったため、Aタンクの作業員の方に流れ込んだ。客先担当者が全員に退出指示を出したが、マンホールから離れていた2名が目の炎症及び呼吸困難となった。	49	519	12	~ 29
2017	3	16~17	改修工事で使用するスチール足場板（長さ3600mm）をトラックの荷台に積み込み作業中、25枚重ねた足場板を荷台の上で整えていたとき、1枚の足場板が滑り落ちてきて、それと一緒に荷台（高さ約1m）から後ろ向きに転落し、左腰部を受傷した。	67	521	1	1~ 9
2017	3	12~13	フレコン保管場所で大型ダンプのシートをはがし終えて、移動式足場を移動させた直後、歯止めを取ろうとしたところ、大型ダンプが誤発進して歯止めを踏んだため、歯止めがはじき飛ばされ、被災者の左足に直撃し骨折した。	64	221	4	50 ~ 99
2017	3	16~17	製油の除染作業中、山砂の敷き均し作業時に、山砂の配置をするため不整地運搬車を使用した際、梨の木の間を通り抜けようとしたところ、枝が邪魔になり体を左に大きく傾け通過しようとしたところ、バックで後ろ向きでの操作だったため、梨の木の幹の部分に気づかずバックしたところ、幹と不整地運搬車の手すり部分に顔面がはさまれた。	45	141	3	50 ~ 99
2017	3	8~9	森林除染現場において、竹林の伐採・刈払・集積を1組2名体制で計画し作業を進めていた。刈払機を使用していた作業員が集積していた人の姿が見えないことから、周囲を確認するため振り返ったところに作業員がいたため、刈払機の刃が接触し被災した。	47	169	8	30 ~ 49
2017	3	16~17	側溝清掃作業中、使用機械BF015の状況はエンジン、アイドル状態状態で安全レバーはロック状態であった。作業開始時、オペレーターの着用していたトラチョッキに操作レバーが引っかかっているのに気づかず安全レバーを下げた。BF0.15はアイドル状態であったため、ゆっくり旋回をして作業員の左側の足腿に接触し、ブロック側に押され、その際に作業員が持っていたスコップが股の間	65	142	6	10 ~ 29

			に挟まり、接触した反対側の右側の恥骨にひび、骨折を負った。				
2017	3	15~16	プール室の窓ガラス清掃および付随作業を行っていた被災者が、作業員全員による工事終了の確認のあと、資機材の片付けを開始していた作業員とは別に単独で作業するため、設置してあった片付け前の高さ約4.0mの脚立を用いて窓枠上へ移動し、そこを歩行中、あるいは作業中に、何らかの原因で高さ約4.0mの床面に墜落し被災した。	49	416	1	50 ~ 99
2017	3	16~17	被災者は、リニューアル工事現場において、足場解体作業中に足場資材（ブラケット）を取り損ねてしまい、資材が顔面に当たり、鼻とあごを骨折した。	22	521	6	1~ 9
2017	3	14~15	現場の2階から1階に下りる階段において作業中、階段を踏み外し足首を怪我した。	41	413	1	1~ 9
2017	3	15~16	事務所の資材置場でトラックへの積み込み作業中に、抱えていた部材（足場の材料）のうち的一本がスルッと抜け落ち、靴の上から左足の親指を直撃し、親指の第一関節辺り、爪の上辺りから切れて出血した。	27	521	4	1~ 9
2017	3	7~8	残土の積み込みをする2tダンプを誘導していたところ、足元の鉄板がユンボの移動によりずれてしまい、両足にのってしまったため、右足の踵と左足の指を骨折した。	61	521	6	1~ 9
2017	3	9~10	太陽光発電工事のフェンス工事を行う際、フェンスの支柱が立つ予定である場所の通りに木があり、それを除去するため電動ノコギリ（丸ノコ）を使用した。木の根元にしゃがみ準備にかかろうとしたとき、何かの拍子で丸ノコが回転し、気づいたときには左手人差し指の第二関節上の部分が切断されていた。	29	131	8	1~ 9
2017	3	19~20	事業所内において荷物を運び出しているとき、荷物に足をかけて尻もちをついて転倒し負傷した。	29	611	2	1~ 9
			作業現場にて、砂利を集めて詰めた20kg前後の土嚢袋を膝を曲げず				1~

2017	3	15~16	伸び切った状態で、注意を払わず背中を丸めて力任せに持ち上げたところ、腰を痛めた。	24	921	19	9
2017	3	17~18	事業所内において、脚立に乗り材料の整理をしていたところ、脚立か足を踏み外し左足を強打し骨折した。	28	371	3	10 ~ 29
2017	3	16~17	事務所の置き場で資材の整理をしているとき、メッシュパレットに資材を降ろすときに左指を挟んだ。	43	529	7	10 ~ 29
2017	3	14~15	店舗解体工事現場で2F天井のケーブルラック撤去作業中に、ラック上のケーブルを引っ張ったところ吊具が外れ、ケーブルラックが落下してヘルメットのつばをかすめ、上唇にあたり、脚立2段目より右腕をつく様に落下し、右橈骨骨折、上あごの前歯が1本折れる負傷をした。	59	418	5	10 ~ 29
2017	3	8~9	塗装工事において、ローラーを使い屋上床部を中腰前かがみで塗装工事を行っていたとき、急に立ち上がったところ、腰部を捻り負傷した。当面は現場作業に行っていたが、その後も痛みが引かなかった。	36	415	19	1~ 9
2017	3	16~17	現場が終わり、事務所の置き場に戻ってきて片付け作業をしているとき、足元に転がっていた鉄筋に気がつかず、右足裏の真ん中あたりを踏み抜いた。	28	521	9	1~ 9
2017	3	14~15	当初資材置き場にて、場内を照らしている照明の角度を直そうと、地面に傾斜がある不安定な場所で脚立に上り作業をしていたとき、バランスを崩し脚立から転落し負傷した。	35	371	1	1~ 9
2017	3	9~10	自社資材置き場において、同僚と2人で鋼製型枠（300×1500、質量14.6kg/枚）の清掃中に、清掃済みの型枠を重ね揃えていたところ、同僚が確認せずに別の型枠を重ねてきたので、慌てて指を抜こうとしたが抜き損ね、左小指を挟み負傷した。	67	921	7	1~ 9

2017	3	16~17	ユンボで鉄パイプをつかむ作業をしてる時、鉄パイプがすべる為それを支える時に鉄パイプがすべり、左の足の甲にあたり、左足の人差し指の骨にヒビが入った。	44	142	4	10 ~ 29
2017	3	13~14	使用する作業用備品である業務用架台（長さ120cm、幅50cm、高さ40cm、重量55kg）を業者に引き取りに行った際、架台を持っていた作業員の手が滑り、左手親指がはさまれた。なお、荷積み前には、6ヶ所の穴が合っているかどうかの確認作業をしていた。	54	419	4	1~ 9
2017	3	11~12	工場内にて、オイルタンク（100×800×400）をマグネットで吊っていたところはずれてしまい、左足の甲に落ち負傷した。	62	612	7	10 ~ 29
2017	3	14~15	自社倉庫にて片付け作業中、一斗缶の移動をしていて、床に塗料がこぼれない様にビニールシートの上から布のシートをひいた上に一斗缶を置き、振り向いた時に足が滑ってしまい、踏ん張ろうとして左足踵を捻り負傷した。	38	417	2	1~ 9
2017	3	12~13	解体現場にて内装材撤去中、2階の床が抜けて1階床に落下し、背中を打ちつけた。	19	418	1	1~ 9
2017	3	11~12	約6m程度のサクラ枯木を切り倒す作業をしている際に、木の頂部から地上へロープを張って倒れる木を支えていたが、そのロープを手に回し握っていたため、木が倒れるのに合わせて引っ張られ、転倒し負傷した。	73	712	2	1~ 9
2017	3	22~23	配水管布設工事現場で作業中、ヘッド取り外し後にケーシング下部から水が出てきたので、水を避けてスクリューに手を掛けたところ、オーバーヘッドが外れたのでパイラーオペはスクリューを上げたとき、ケーシング先端とスクリューに左手を挟まれた。	46	149	7	1~ 9
2017	3	16~17	鉄骨造倉庫の解体作業中にブレスの丸鋼をガス切断中、切断したブレスが落下し、右足の第1指と第1指の付根に接触し火傷した。	44	521	11	10 ~ 29

2017	3	13~14	会社から現場に向かうため北東に向いて走行し、交差点の信号が赤信号であったため、前方の車両に続き停車したところ、後方から走行してきた車に追突された。	61	231	17	~ 49
2017	3	13~14	ライン工事現場にて、脚立（6尺）を使用しての塗装作業中（配管）既設配管が左側にあるため、脚立の右側を昇降し、脚立を降りる際に下から1段目と2段目の間に足を踏み外し転倒し、右足を捻り負傷した。	19	371	2	1~ 9
2017	3	15~16	会社の敷地内にて片付けをしていた際、よそ見をしていて、ゴミ捨て場のごみに躓き転倒した。普段なら足が出て着地するところを、足がもつれて膝から落ちてしまった。	35	911	2	~ 29
2017	3	9~10	資材置場の整備をしていたとき、2tトラック車上（荷台）からバランスを崩して転落した。	19	221	1	1~ 9
2017	3	14~15	高さ3mくらいの選定作業を行うため、園芸用三脚を立て、木の2.3mくらいの高さの枝に上がろうとした時にバランスを崩し、転倒した。	48	371	1	1~ 9
2017	3	15~16	被災者は、ベンドプリーに付着していた水マグ乾燥物を安全カバーの隙間（100mm）からケレンハンマー（400mm）を使用して落としていた。その際に、ハンマーを握っていた左腕を巻き込まれた。	62	224	7	10 ~ 29
2017	3	16~17	被災者は、親網展張作業をしていた同僚の応援を行おうと、支柱（スケール）に左手を掛け、右手でスリングを支柱に巻きつけるよう同僚に投げたとき、左手で掴んでいたスケールが剥れ、バランスを崩し、約8mの高さから墜落した。吸収塔入口部が開口状態で安全帯も使用していなかった。尚、吸収塔入口部は照明設備を設置しておらず、マンホールからの射光と同僚のヘッドライトのみで暗い環境であった。	18	416	1	~ 29
2017	3	9~10	船上で側張とアンカーロープの取り付け作業後、ロープを戻す途中に、着用していた雨ガッパの袖がロープとローターに引っ掛かり、	47	379	7	50 ~

			右手をローラーに巻き込まれた。				99
2017	3	7~8	土砂捕捉施設設置その他工事の現場において、作業中止が決まった為、出張中の宿舎である民宿へ帰った。本社より日報・伝票を整理し郵送するよう指示があり、現場まで社用車にて取りに行った。帰る途中ジャンパーの汚れに気づき、民宿の手前500m位の道路沿いの空き地に車を止め、車の窓を閉め切ったままパーツクリーナー（引火性の洗浄剤）とティッシュで汚れを取り除いた。終了後にタバコに火をつけた瞬間に爆破し、両手及び顔面を火傷した。	44	512	11	10 ~ 29
2017	3	14~15	高所作業車に乗り枝下ろし作業中、下にフェンスがあるので切った枝が当たらないよう、隣の松の木の枝にロープをかけてハゼの木の枝を切ったとき、上の松の木が折れて、作業中のゴンドラに落ちてきた。	69	712	4	1~ 9
2017	3	17~18	被災者と作業員A（4tユニック操縦者）、B（被災者）にて自社資材の片付け作業を開始する。4tユニックに荷吊りをはじめた際、被災者は介錯ロープが絡まっている事に気づき、咄嗟に外そうとして手を出す。被災者の右手親指に介錯ロープが絡みついたが、作業員Aはそのことに気付かず、ユニックのブームを起こす。被災者は指に絡まった介錯ロープに引っ張られ、右手親指のみで吊られ、地面に落ちる。地面に落下した被災者は、右手に違和感を感じたので手袋を外してみると、右手親指の第一関節上部より切断していた。	21	372	7	1~ 9
2017	4	10~ 11	被災者は、当事業所倉庫内にてガラスパレットにガラス18枚（914cm×1829cm、厚さ5mm）を乗せ、倉庫内で移動作業を2名で行っていたところ、バランスを崩しガラスが倒れて下敷きとなり、頭部と手を切り、腰を強打し、背骨にひびが入り負傷した。	46	611	5	1~ 9
2017	4	16~ 17	倉庫内で、右後のタイヤ交換作業中に、ナットを外す十字レンチを差し込んだまま、一旦作業を中断しトイレへ向かおうと、差し込んだままの十字レンチを確認せず立ち上り歩行し、十字レンチへ左膝を強く強打した。直後も激痛があったが、そのあと我慢できないほ	40	379	3	30 ~ 49

			どの痛みになった。				
2017	4	14～ 15	プレハブ解体現場で最後の鉄骨バラシの際、鉄骨支えの準備中強風で鉄骨が倒れ、下敷きになり打撲した。（鉄骨の柱のアンカーボルトが腐っていた。）	31	418	5	1～ 9
2017	4	16～ 17	作業終了時、あゆみ板を車に積込中、手が滑って足に落下して、けがをしてしまった。	58	522	4	1～ 9
2017	4	8～9	朝礼等の終了後、3tダンプに2名同乗し、3名にて現場へ向かうため走行中、運転手が運転席の足元に気をとられよそ見をし、道路左側のガードレールに衝突した。	57	231	17	1～ 9
2017	4	15～ 16	草木集積場にて破砕機を使用して竹を破砕する作業の時、作業が終了したので、清掃をするためエンジンを切り、惰性で刃が回転し完全に止まっていない状況で刃の点検口を開けようとしたため、点検カバーと刃が接触し、持っていた左手がプレートと破砕機本体に挟まり、左手人差し指・中指・薬指の第1関節部を切断した。	34	162	7	100 ～ 299
2017	4	13～ 14	改修工事現場にて、天井下地組み立ての作業中、屋根裏部屋へ上がる収納式梯子の上からバランスを崩し滑落し、右足を負傷した。	46	371	1	1～ 9
2017	4	11～ 12	塗装の材料をもって足場に入ったとき、屋根ですべり左手肩左足を捻ってしまった。	52	415	19	1～ 9
2017	4	16～ 17	解体した家屋の窓ガラス（約90×180cm）をトラックへ運ぶ際に、手が滑り足の上に落下し、右足等を負傷した。	52	419	4	10 ～ 29
2017	4	20～ 21	会社場内においてシートの片付け作業中、所定場所に収めて階段を下りていた時に足を滑らせ地上まで飛んだところ、着地した時に左足首をひねり骨折した。	21	413	1	10 ～ 29
2017	4	17～ 18	自社の資材置き場で、はしごを使って資材の片づけをしていたとき、バランスを崩しはしごから地面に落下し、左足を負傷した。	66	371	1	10 ～ 29

2017	4	11～ 12	当社賃貸契約の宿舍（4LDK、1軒屋）の整備作業中に、宿舍のブロック塀を乗り越え着地の際に左足を負傷した。	57	418	3	10 ～ 29
2017	4	15～ 16	造成工事現場で、フレコンバッグを運搬するため、大型ダンプに積込作業をしていた。クレーンオペレーターからダンプの荷台が見えなかった為、降ろす場所を指示するために荷台に上がって合図を送っていた時、既に積んであったフレコンバッグの吊りベルトに足を引っかけてつまずき躓き転倒し、荷台から転落した。	68	611	1	30 ～ 49
2017	4	10～ 11	資材置場で工具のメンテナンス中に、電動工具（ハンマードリル）に、ゴム手袋が巻き込まれ負傷した。その後、職場の従業員を迎えに行く途中に耐えられないほどの痛みとなった。	24	139	7	1～ 9
2017	4	11～ 12	被災者は、同僚と上階へLGS材の差し上げ作業をしていたとき、1階でLGS材を持ち上げ、振り回す際に左足にぶつけ被災した。	22	521	4	1～ 9
2017	4	19～ 20	現場から会社に帰ってきたあと、会社の駐車場で車から道具を持って降りる際に転倒して右手を骨折した。	46	418	2	1～ 9
2017	4	14～ 15	木造住宅解体工事現場において、手渡しでの内部解体中に、被災者は指示の無い雨どいを撤去する為に単独で屋根に上がり、旧光窓部分（トタン貼り）を踏み抜いて4m下の土間へ落下した。朝のミーティングの中で職長より口頭で注意喚起されていた場所であった。	26	414	1	1～ 9
2017	4	16～ 17	工事現場にて、旧車庫の解体のため鉄骨を脚立上で切断中、鉄骨が落下し脚立に当たり本人が落下し、頭部・右上腕部を強打した。	26	371	1	1～ 9
2017	4	11～ 12	別添にて	69	227	1	1～ 9
2017	4	9～ 10	外壁塗装工事にて、足場の昇降用階段を下りている時に足を踏み外し転倒し、手をついた際に両手を負傷した。	48	413	3	1～ 9
2017	4	11～ 12	現場で整地作業を行っている際にコンクリートブロックを積み上げた状態で手に抱えて移動中に、つまずいてブロックを自分の足の上	21	611	4	10 ～

			に落とした。				29
2017	4	13～ 14	中間スラブにあるダクトを撤去するため2階から中間スラブへ脚立はしごを使用し降りたところバランスを崩し2.9M下のコンテナ上に落下し、そのまま1階床に落ち、左太ももを強打した。その際、安全帯は携帯してたが使用していなかった。	49	371	1	1～ 9
2017	4	15～ 16	広路で、給水ポンプのカバー（自動販売機程の形と大きさ、重さ約30kg）を持ち上げる際に、設置場所が階段下の天井が低い狭い場所のため、姿勢の悪い状態（かがんだまま）で持ち上げたところ、腰を痛め歩行することができなくなった。	35	921	19	1～ 9
2017	4	9～ 10	住宅解体工事で丸太組みを1人で行う事になり、丸太を1人で持つのは難しく、丸太を持ち上げた時に頭の上から落としてしまい、首を痛めた。当日はずっと首が痛く、後日に頸椎捻挫と診断された。	35	522	19	10～ 29
2017	4	15～ 16	施主代表者と被災労働者の2名でテントの取付作業を行っていたとき、被災労働者が4尺（1,200mm）の脚立に登り、テント張り作業を行っていたところバランスを崩し、顔から転落した。	46	371	1	1～ 9
2017	4	16～ 17	当社内にて片付け作業中、重機で鉄板を吊り、オペレーターが鉄板を降ろそうとした時に合番していた補助作業員の手が入っているのに気づかず鉄板を下したため、鉄板と地面に挟み左手中指先端を負傷した。	45	521	7	1～ 9
2017	4	16～ 17	住宅解体工事で重機による建物解体作業中、重機付近が危険の為被災者に現場左奥側での作業を指示、重機と手元作業員で解体作業中、被災者が見当たらず、手元作業員に確認を指示した所、作業現場の左奥で仰向けに転倒していた。雨のため現場内の足元が悪く、被災者は複数回転倒していた。被災者は丸太足場に昇り作業を行っていたときに足を滑らし（転落の可能性有り）、事故当時はショック状態だった。	51	411	1	10～ 29
		16～	工業用足場資材の積込を行う場所で、フォークリフトにて運搬作業中に、フォークリフトが入っていけない場所の荷物を歩いて取りに				10

2017	4	17	いった際、足元の段差に気付かずに躓いて、鉄バタ（積荷の突起している部分）に肋骨を強打した。	23	417	2	～ 29
2017	4	0～1	店舗内エアコン取替作業の際、撤去準備中に室内機固定ボルトが外れ、室内機が被災者に乗りかかり、既設室内機撤去中の脚立足場（アルミ道板使用H1.8m）から転落する。	44	411	1	～ 49
2017	4	16～ 17	自社資材置場内の鋼管パイプ置場で長さ1mのパイプを整理するため束ねる作業をしていた時、置き方が不安定だったため1mぐらいの高さから50本ぐらいのパイプが右足甲に落下し骨折した。	40	521	4	1～ 9
2017	4	12～ 13	2階屋根で古瓦撤去中に誤って腐ったタルキを踏み、1階まで落下し骨折した。	39	415	1	1～ 9
2017	4	20～ 21	現場でのサイン工事で使用するアルミ複合版（デラバン）をカット作業中、誤ってカッターの刃が脹脛に接触した。	30	364	8	10 ～ 29
2017	4	11～ 12	倉庫で機械を車に積み込む際、車と背後の機の間で挟まれ、両足を負傷する。	24	221	7	1～ 9
2017	4	13～ 14	駐車場機械敷地にて機械を分解した時、機械を支えた木のブロックがずれていたため部品をはずしてバランスが悪くなり、機械が倒れかかった。	76	391	5	1～ 9
2017	4	16～ 17	自社工場から作業現場へ向かうため2トン車で走行中、運転操作を誤り、道路右側のガードレールを突き破り、約7メートル下の崖下に転落し、全身打撲、頸椎捻挫を負った。	55	221	17	10 ～ 29
2017	4	18～ 19	改修工事現場にて、朝から使用する重機（ユニッククレーン2.8t）を3tユニッククレーン車から降ろし、作業現場基所に移動させる際、エンジンを掛けてギアが①に入っていることを目視して発進させたが、ギアはRに入っており、3tユニッククレーンの荷台と重機の間で約1分間程挟まれ腰部を負傷した。	27	212	7	1～ 9
			処分場コンクリートがら置場横にて小割作業をしていた時に、鉄筋				

2017	4	11～ 12	の付いているがらを分別していたところ、引っぱった反動で、上のコンクリートの塊がすべり落ちてきて右手親指をはさんで粉碎骨折を負った。	31	523	5	30 ～ 49
2017	4	9～ 10	畜産用換気扇取付をするため換気扇を運ぶ途中、風が吹いてファンが回って羽根の先端が右手の甲（中指）に当たり負傷した（作業用手袋着用）。手の甲の腫れと痛みが引いた後も中指が動かず、筋が切れていることが分かった。	56	391	7	1～ 9
2017	4	9～ 10	浄化槽埋設工事現場にて、掘削作業で土中の石をハツリ工具にて砕いているときに、ハツリ工具の先端が石から滑って、先にあった自分の左足甲に当たった。	35	364	6	1～ 9
2017	5	10～ 11	墓地基礎工事にて運搬車からランマーを降ろそうとした際に、ランマーが滑り落ちそうになり、支えようとして指を挟まれた。	43	169	5	1～ 9
2017	5	16～ 17	園芸作業土場において、剪定した木の枝をチップパーを用いてチップにする作業中、チップパーのモーターベルト部に木の葉が被り、左手でどけようとした際に誤ってベルトに巻き込まれ、小指を脱臼し、左手薬指付け根付近と端を切創し出血した。	37	391	7	1～ 9
2017	5	13～ 14	除染作業建物北側で、草袋（3kg程度）2個を両手に持ち、車に持って来る時に狭い場所で側溝蓋の付いていない場所で右脚を踏み外し、バランスを崩し尻もちをついたところ、尻を強打した。	49	419	2	1～ 9
2017	5	8～9	家屋の解体作業で、被災者1階の屋根から2階の屋根に梯子で昇っていたところ、屋根に足を掛けるところで梯子が滑り、体勢を崩して1階の屋根部分まで落ち、体を打った。	64	371	1	1～ 9
2017	5	10～ 11	足の下で片付け作業をしている時に、足場の部材が倒れ落ちてきて背中に当たった。当初は打撲だと言われたが痛みが取れず、後日に腰椎突起骨折だと診断された。	36	521	5	10 ～ 29
2017	5	13～ 14	個人宅水道工事作業中、地面に置いてあったマンホールの蓋に躓き転倒し、左足を負傷した。	31	911	2	—

2017	5	8～9	お客様の庭で植木の剪定の作業をするため脚立で作業中、自分の足元の確認が不十分であったため脚立から転落し下にあった石に頭をぶつけた。	49	371	1	1～9
2017	5	10～11	被災者は解現場において仮囲いフェンス解体中に、番線を切ろうとしフェンスをつたって手と足をフェンスにかけて移動したところ、足元が滑りバランスを崩し落下してしまい、着地の際に右足踵骨を骨折してしまった。	44	419	1	1～9
2017	5	18～19	現場作業後、当社の材料置場にて、見切（天井と壁境の材料）を脚立（1200）にて片付け、下りる際に上から2段目（1000弱）から飛び下り、左足首を負傷した。	22	371	1	1～9
2017	5	11～12	一輪車でモルタルを運搬中、段差のある不安定な場所でバランスを崩し、左足首を捻挫した。	24	416	2	10～29
2017	5	16～17	自社倉庫において、資材の整理作業を行っていた際に資材に手をぶつけた。	49	521	3	1～9
2017	5	19～20	看板設置の為、現場へ車で移動中、交差点にて赤信号で停車中、後方より追突された。	35	231	17	1～9
2017	5	10～11	個人宅外構工事現場内において、電動コンクリートカッターでブロック塀を斫り作業中、カッターを滑らして左母指の付け根部分に接触して切傷した。	63	363	7	1～9
2017	5	8～9	作業員の出勤確認の為、工事現場へ出張したところ、雨で滑って転び骨折した。	73	417	2	10～29
2017	5	10～11	自社の倉庫で、上にある道具を取ろうとして木の梯子にのぼり、降りる際に2.5m程の高さから滑って落ちてしまった。落ちる時に身体を捻って右背中から落ち、背中を打った。	27	371	1	30～49
			排水設備工事現場において、ハンドカッターを使用して建物のコン				

2017	5	10～ 11	クリートを切断中、腕が疲れてきたのでカッターを持ち替えようとした時、手が滑ってカッターを落してしまい、カッターの刃が左足甲に当たり負傷した。（安全長靴を着用していたが、先芯から外れた部分に落ちた。）	63	169	4	10 ～ 29
2017	5	8～9	林道の崩土集積及び搬出する際、タイヤショベルにて崩土を集積作業中、一旦集積後、タイヤショベルをバックするときに後方確認を十分しないままバックした為、路肩より重機と共に約2m下に転落した。	52	141	1	1～ 9
2017	5	17～ 18	会社の倉庫で道具の積み降ろし作業をしている時に溶接機が落下して、右足の甲に当たり骨折した。	24	419	4	1～ 9
2017	5	8～9	出張のため自宅マンションを出て階段を降りる際に、残り2段のところ で階段を踏み外して転倒し、右足を捻り骨折した。	48	413	1	500 ～ 999
2017	5	0～1	宿舎で夜中トイレへ行く時、廊下照明が消灯していて暗かった。階段に差し掛かった時、近くにあったスイッチを押したが同時に階段（6段）から落下し、左腕を強打した。	44	413	1	500 ～ 999
2017	5	10～ 11	客先の工場建物（空調機取付作業中）から取付タラップをのぼる途中に手が滑り4m下に転落し、腰椎を骨折した。	32	371	1	10 ～ 29
2017	5	15～ 16	脚立に乗ってコンテナの上の物を動かしている際、誤って脚立（約3m）から転落し、全身を強打した。	23	371	1	1～ 9
2017	5	11～ 12	駐車場解体工事中、境界ブロック付近で境界ブロックの縦筋を切断するための斫り作業を完了し、鉄筋切断が出来るかの確認をしている時に、突然倒れてきた境界ブロックに、境界ブロックが不安定な状態にもかかわらず、作業員が危険予知を怠り、確認のために境界ブロック際に立ち入ってしまい、屈んだ状態で確認作業をしていたためブロック塀が倒れてくるのに気付かず、3m×1.5mのブロック塀の下敷きになった。	55	419	5	—

2017	5	9～ 10	病棟の屋根に梯子を掛けて屋根端に溜まっていた落ち葉を落していた時、梯子が滑って2.7mの高さより転落して、右足かかとを負傷した。	58	371	1	1～ 9
2017	5	10～ 11	ベルトコンベアテール付近で施工内容を決定する為、修理箇所の上にあったアースパッチを剥がそうとしている時に通路に乗って作業をしていたがアースパッチが剥がれにくく困難であったため、ベルトに上がり剥がそうと考え、テール後方の開口部から墜落し骨折（左大腿部頸部骨折・左肘頭部骨折・右手関節部骨折）した。	36	224	1	1～ 9
2017	5	14～ 15	自社ガレージにて、12tラフタークレーン作業後、ガレージに戻り、クレーン車の汚れがひどいため洗車していたところ、車体が濡れていたため足を滑らせ2m位の高さから転落して左手首を骨折した。	31	212	1	1～ 9
2017	5	10～ 11	お客様宅へ見積りに行く途中、高さ30cm位のブロック壁を乗り越える時に躓いて左肩より転倒した。	41	418	2	1～ 9
2017	5	10～ 11	自社倉庫にて、棚の上の荷物を取ろうとして引き抜いた時、隣の荷物が左肩に落ちてきて負傷した。	66	611	5	1～ 9
2017	5	15～ 16	当社作業場において、トラックから荷物（約2t）を下ろしていたところ、荷物に巻いてあるチェーンを外してチェーンを巻き上げる際、左環指が挟まり負傷した。	26	372	7	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	被災者の就業場所である支店の資材置き場にて、作業に用いる攪拌翼をクレーンで吊り上げて移動中、地面に降ろす際に添えていた被災者の指が、すでに置かれていた別の攪拌翼との間に挟まれ負傷した。	57	211	7	10 ～ 29
2017	5	16～ 17	軽量鉄骨二階建て事務所外壁改修工事現場で、足場から降りる際に足を滑らせて約2.3m位の高さから転落し、肩周辺を強打した。昇降設備はなく、手すり等があったかは不明である。	57	411	1	1～ 9
2017	5	8～9	窓枠サッシ取付工事現場にて、取り付け済みの窓枠サッシが雨に濡れないようにシート及びベニヤ板を取り付けて、当該シート及	69	419	1	10 ～

			びベニヤ板を取り外すために高さ4mの作業箇所のにぼってナイフでシートを切り外したところ、シート共に地面に墜落した。				29
2017	6	11～ 12	会社工場内吹き抜け塗装作業場で、鉄骨のパネルをフォークリフトに載せ、後ろに移動する際、鉄骨パネルをパレットに下ろそうとした時に、振動でパネルがフォークリフトから滑り、ツメにパネルがぶら下がった状態となった。鉄骨パネルを地面に下ろそうとした時に、自分の方へ倒れて来て右足脛にぶつかり、足首を挟まれた。	66	521	6	10 ～ 29
2017	6	11～ 12	休転作業で使用のリース品返却及び工場内片付け作業中に、工事で発生した古ベルトが工場内に放置されているため、2名にて古ベルトをシャーリングで切断しようとしていた。シャーリングに古ベルトを押し込んでいる際、鉄板送り用のローラー付テーブル（幅1150×奥行200×高さ850、重量約70kg）が、ベルトと接触し倒れ、作業員2名の右足甲が挟まれた。	22	391	5	50 ～ 99
2017	6	10～ 11	平な山林で玉切作業をしていて、次の玉切作業に移るため待機中で、地面に付いていたつるに上がっていた。そのつるが、引き寄せする木に絡まって伸びているとは知らなかった。重機オペレーターが次の作業をするために、木を引き寄せ始めたところ、つるが持ち上がり、別の重機のキャタピラの部分に引き寄せられ、つるとキャタピラに挟まれて被災した。	58	171	7	10 ～ 29
2017	6	13～ 14	現場で車の上に物を積んでいる時に、荷締めベルトが切れて、その反動で車体から落ち、怪我をした。	22	221	1	1～ 9
2017	6	14～ 15	工場でのベッケン7号炉製品排出装置整備作業において、製品排出装置のシャフト交換作業を行っていた。シャフトを抜き出した後、シャフトを排出する際に吊っていたワイヤーロープが切断し、シャフトが転倒し、被災者に当たったと推定される。	56	521	4	1～ 9
2017	6	10～ 11	解体工事中、脚立をベランダに掛けて解体していた。ベランダの柱の基礎が弱く、柱と脚立が前へ倒れた為、本人が驚きバランスを失い、後ろへ脚立から落ちて頭や体を打った。何かが頭をかすめ少し	51	371	1	1～ 9

			出血した。				
2017	6	14～ 15	集煙部のケレン作業用足場が組み上がったので、足場の組立状況の確認と塗装予定部の状態確認を、強力会社2名と設備チーム1名の3名で実施していた。集煙部周りの足場を通行時に、ウインチワイヤー滑車の上に左手を巻き込まれた。救急車で病院に搬送され、手術・加療中である。	48	219	7	10 ～ 29
2017	6	13～ 14	駐車場にあるコンクリートから、ブロック殻を大型電動ピックで粉碎中、誤って右足親指を負傷した。	46	149	6	1～ 9
2017	6	12～ 13	他事業所へ荷物の運搬後、帰社中、信号待ちをしていたところ、3台後ろの後続車両が追突した。そのまま玉突きで車両後部に接触した。病院にて、頸椎捻挫とのことで1週間安静との診断を受ける。	34	221	17	50 ～ 99
2017	6	13～ 14	造園工事で、太い木の枝を鋸で切っている際、枝を切り終えた時に勢い余って、枝が左手にぶつかってしまった為、左手示指を負傷した。（左手示指こぶし部分創傷、左示指伸筋腱損傷）	39	712	4	1～ 9
2017	6	17～ 18	今回の災害は、住宅新築工事現場にて発生したものである。取引先が工事で使用する部材（タイル接着剤）を現場にお届けした後、現場外回りの点検・清掃を行っていた。玄関付近を点検するため、玄関ポーチ上に上がろうと設置してあった足場板に足を掛けたところ足場板がずれ、バランスを崩して転倒した際、左足左腕を打ちつけた。当日は若干の痛みであったが、翌日になり左足が腫れて痛みが増した。	46	379	2	—
2017	6	1～2	外部既設RC柱の根元部分をハンドブレイカーで解体作業中、ハンドブレイカーの先端が衝撃で横に滑り、右足に接触し負傷した。（右足甲骨折）	43	145	8	1～ 9
2017	6	16～ 17	個人宅解体工事において、基礎を砕いて出たコンクリート殻（35kg）を一輪車に載せ、階段に板（幅30cm、厚さ4cm）を敷いた上を勢いをつけて上る際に、左足ふくらはぎに痛みがはしった。	58	417	19	1～ 9

2017	6	15~ 16	弊社西側駐車場にて、100tクレーンを使って400tクレーンのジブ組立作業をしている時、右手で旋回ロックピンのレバーを持って、旋回ロックを入れようとしていた時、左手でロックが入る場所を探す為、旋回レバーを動かした。その時、右手側の旋回ロックピンが跳ね返って右手に当たり、右手の親指打撲、小指裂傷を負った。	33	212	6	10 ~ 29
2017	6	12~ 13	一体空冷コンデンサーファンモーター交換作業で、ブレーカーを切って作業していたが、ファンモーターのビスがドライバーでは外れず、インパクトドライバーに切り替えたが充電切れの為、運転を再始動し、充電を待っている間に再度ドライバーを左手（利き手）に持ち、作業を開始したところ、回らなかったビスが回り、惰性で作業服の左腕袖のボタンを留めてなかった為、隣のファンに左手首が巻き込まれて負傷した。	42	121	7	10 ~ 29
2017	6	12~ 13	解体先現場にて、庇を解体中、上部から足を滑らせて転落した。	31	416	1	1~ 9
2017	6	14~ 15	自社の倉庫内において倉庫の片付け作業中、脚立に乗って棚（高さ2m、奥行2m）の上に発電機を置き、場所を調整しながら置いていたところ、バランスを崩して脚立から後ろ向きに落下し、尻と左手を強打した。	57	371	1	1~ 9
2017	6	8~9	災害報告書別添	66	222	7	10 ~ 29
2017	6	11~ 12	当社工場内にて、組み立てたガラス入り障子（縦200cm×横90cm×幅4cm、重量約40kg）をトラック（1t車）に積み込み作業中、障子を両手で持ち上げて荷台に載せようとした時、右肩でブチブチと音がし、右肩が上らなくなった。	44	529	19	1~ 9
2017	6	11~ 12	敷地内の草刈作業を行っていた時、鎌で竹を切ろうとしたところ、竹で鎌の刃が滑り、左手を負傷した。	69	364	8	1~ 9
			スレート更新工事のため、スレート母屋の撤去工事を行っていた。				

2017	6	9~ 10	親網・セーフティブロックを使用し、既設スレートの上に足場板を載せ、その上で作業中、腐食で劣化していた母屋が重みに耐えきれず座屈し、スレート・足場板ごと少し下がった。足場板の上に立っていたので、下がった勢いでバランスを崩し、スレートの上に足を置いたが、スレート止めフックも腐食していたためスレートがずれて、足を取られて転倒し、足元の足場板に左手をつき骨折した。	57	415	2	1~ 9
2017	6	16~ 17	2階事務所より、同僚と打ち合わせしながら階段を下りている途中、踊場より2、3段下の階段で滑り、階下まで落下した。	24	413	1	1~ 9
2017	6	16~ 17	受注予定の現場調査のため敷地内に入ろうとし、閉鎖用ロープ（高さ30cm位）を跨ぐ際、ロープに足を絡ませて転倒した。救急車にて病院へ搬送され、右足首3か所骨折が判明した。	52	379	2	1~ 9
2017	6	17~ 18	残土搬出をするため4tダンプを開閉中に。右指を挟み負傷した。	40	221	7	1~ 9
2017	6	16~ 17	自社の処分場にて、産業廃棄物の分別作業を行っていた際、針が足の甲にささり、2~3日放置していたところ、腫れてきた。	19	521	9	10 ~ 29
2017	6	15~ 16	車庫で担当者の車点検部品交換（ジョイント）取り替えのため、取りに行く際にステップに足を乗せて降りたところ、足を滑らせ転倒し、左手をついて怪我をした。	60	221	1	1~ 9
2017	6	18~ 19	倉庫片付け中、2階に荷物を運んでいる途中で階段から転げ落ち、左肩と骨盤を打った。	25	413	1	30 ~ 49
2017	6	14~ 15	社内の資材置場において型枠の組立作業中、左側の脇を型枠に押し付けて、無理な体勢で作業をし、直後は少し違和感があったものの痛みはなかった。その後に痛み出し、少しずつ強くなってきた。左第7肋骨骨折と判明した。	53	921	19	1~ 9
			工事のために工事用仮工場を設置、その敷地内養生シートを被せた				10

2017	7	7~8	資材を保管していた所、工事の段取りのために養生シートを外す時に、前日の雨でシートが濡れていたため、足を踏み入れた時に足を滑らし転倒、左足足首を骨折。	54	379	2	~ 29
2017	7	16~17	庭園内（個人邸）にて剪定作業中に、剪定枝の片付けをしていたところ、繁茂した草の中にあつた切り株に気付かずに、右足つま先を強打した。翌日になっても痛みが引かず、右足親指と人差し指の間にひびが入っていた。	69	712	3	30 ~ 49
2017	7	14~15	商品サンプルを配布中、砂利道を歩いていたら、釘が靴を貫通し土踏まずに刺さり、負傷した。	31	921	19	30 ~ 49
2017	7	16~17	路上でクレーントラックのアウトリガーを本体に引き込もうとしたところ、左手薬指小指と一緒に引き込まれ、第一関節より上を複雑骨折した。アウトリガーを格納するのに道路の天射ポールが邪魔で、両手でポールを曲げてアウトリガーを収納しようと思った。	65	212	7	30 ~ 49
2017	7	16~17	玄関の屋根にのぼり、玄関の屋根と壁の水切りを取り付け中、屋根の軒先から足を滑らし地面へ転落、両手に創と背中と腰を打撲受傷した。	75	415	1	1~ 9
2017	7	10~11	幅約3mの町道上で路肩の除草作業を行っている時に、刈った草を集め、ダンプトラックに積み込もうとして、停止していた2tダンプトラックが合図により後退しようとした時、約1m後方の路肩にいた被災者が、そばにいた作業員に話しかけながらダンプトラックに対して後向きで道路を横切ろうとして、後退し始めたダンプトラックと接触し、気づいた運転手が停車したが、倒れた被災者はダンプトラック下部分に挟まれ圧迫された後、助け出された。	59	221	17	1~ 9
2017	7	8~9	構内物揚場資材置き場で被災者は、上部コンクリートガラを詰めたトンパックを元請支給の60tクレーンを使いユニック車荷台に積み込み作業を行っていた。最後の2袋を荷台後部に積み込む際、合図及び玉外しのため荷台にいた被災者が、トラック荷台あおりを超え転	49	212	1	50 ~

			落し被災したもの。（被災者が病院に入院し、絶対安静状態で本人から事情聴取が現在できないため、転落した詳細原因については不明）					99
2017	7	15~16	解体工事現場に於いて、建物内の解体作業中、誤って階段で滑り転倒、胸と手足を強打し負傷したもの。	49	413	1		1~ 9
2017	7	15~16	インターの間で、処分場から現場へ戻る途中、前方から鳥が飛んできて避けようとハンドル操作を誤り、追越車線側のコンクリート壁にぶつかった。	20	221	17		10 ~ 29
2017	7	9~10	民間の建屋解体工事現場で、大型土のうをバックホウ0.25?（回転フォーク付）にて吊り上げようと操縦中に、ヒモがはずれそうになったので、補助作業をしていた被災者が回転フォーク内に右手を入れてしまい右手全体を挟んでしまった。	33	372	7		1~ 9
2017	7	14~15	2階建住宅の解体工事現場において、飛散防止のメッシュシート（180cm×360cm）を掛ける作業中、組んであった単管パイプ（直径5cm長さ4m）に乗りシートを掛ける際に、足を滑らせ、5~6m位の高さから転落した。一度鉄製物置の屋根（高さ2.5m）に落ち、その後1m位の高さの単管パイプに当たり、地面に落ち体を打ち負傷した。（ヘルメットは着用）。事故後直に救急車で搬送された。	73	418	1		1~ 9
2017	7	15~16	ケーシングの架台の上にパレットを敷きその上に乗り、扉をのせてクレーンで1m位吊り上げて素手でラップを巻いていたところ、体勢を崩した際、ケーシングに左手でつかまりながら下降したため、ケーシングの突起物（部品）に当たり、怪我をした。	43	221	7		10 ~ 29
2017	7	8~9	丸くするためトリマーを使い刈り込み作業中、トリマーのエンジンを止めずに置き、刈って落ちた葉を整理していたため、トリマーの刃と右手小指が当たってしまい裂傷した事故。	34	131	7		10 ~ 29
2017	7	17~18	資材置場で手袋をして道具を塩素系の薬品を使い洗浄した。夜になり、手の大部分がかぶれて、左手薬指と人差し指の色が変化してきた。激しい痛みがしてきた。	19	519	12		1~ 9

2017	7	14~15	作業場内で棚を移動している時に棚が倒れて指を挟んだ。	40	911	5	1~ 9
2017	7	15~16	県道側の傾斜地にて草刈を肩掛け機を使い作業中足を滑らし、下の県道に転落してしまい、その際肩掛け機の刃が右足首に当たり、2ヶ所裂傷してしまい傷口を縫合した。	37	711	1	1~ 9
2017	7	16~17	営業所内の宿舎脱衣所において、風呂の準備を行っていた。すのこを指定の場所へ置くためにすのこを持ち移動中、床が濡れていたこともあり、転倒。後頭部を強打したものである。	48	416	2	30 ~ 49
2017	7	15~16	現場で鉄の柱を支えているときに誤って倒れてしまい、左足甲に落ちてきて負傷した。	52	419	5	1~ 9
2017	7	15~16	現場で鉄の柱を支えているときに誤って倒れてしまい、左足甲に落ちてきて負傷した。	34	514	12	1~ 9
2017	7	9~10	事務所に入ろうとしたところ、雨で滑り、左ひざを階段で強打してしまった。	44	413	3	10 ~ 29
2017	7	10~11	解体整地工事へ向かう準備のため、資材と地図を持ち、2Fの事務室から階段を下りる途中、足を踏みはずし、背中と脇腹を強打。	27	712	3	10 ~ 29
2017	7	10~11	上記日時、山林にて埋め立て工事のため、チェーンソーを使用して山林伐採作業を行っていた。その際に倒れてくる木を避けるために、もともと倒れていた木を飛び越えようとしたところ、右膝上腿を強打し転倒してしまったものである。	48	413	1	1~ 9
2017	7	11~12	会社前駐車場でバックホウのバケツ交換のためピンをはずすなどの作業中にアーム部分が動きバケツの上に手を置いていたために挟まれる。	64	142	7	1~ 9
			1号ろ過タンク（屋外）付近で、残塩を測定後、水質計器室に移動する際、通路階段（2段）より降りる時に足を踏み外し左足首を捻りな				50

2017	7	10~11	がら足を着き負傷する。左足小指、中指、薬指の痛みと腫れが酷いため早退した。点検時、安全靴・ヘルメットは着用していた。	44	413	1	~ 99
2017	7	16~17	太陽光発電所除草工事現場に於いて、刈払機を使用して胸丈程の草の除草作業中、ズボンの上から蜂に刺され負傷した。1日入院し、翌日退院、翌々日も休業していたが、眼に違和感があった。	49	719	90	1~ 9
2017	7	13~14	当社中間処理場において、トラックの荷降ろし（手降ろし）作業中に、金型のクズ同士がぶつかり、その際に鉄くず破片が飛散し、右目にあたり右目に傷がついた。	71	521	4	10 ~ 29
2017	7	10~11	下記工事現場において、施主より2階屋根の雨樋の水はけが悪いとの指摘があり、様子を見るため1階屋根上に脚立を立て掛け、3~4段（高さ約1.3m）昇り掛けたところ脚立がしっかり固定されていなかったため、ずり落ちてしまい脚立ごと1階屋根上に落下し負傷した。	50	371	1	1~ 9
2017	7	12~13	会員へのサービスである配水管の洗浄のために訪れたお客様宅にて、お客様の希望によりクモの巣撤去を頼まれた。1階屋根に上がり撤去しようとした際に苔で足を滑らせてバランスを崩し、地面まで落下した。	27	415	1	10 ~ 29
2017	7	10~11	引き上げ作業移動式レッカーを使用しワイヤーで揚水管を吊り上げし時揚水管をワイヤーに挟まったと思われる。薬指一部裂傷した。	55	212	7	—
2017	7	16~17	工場の濃縮槽ピット内で、仮設足場組立作業を行っている際、足場上で症状（手足がつった状態）が発症したため、その場で横になり経過を見たが症状が改善されず、診断結果は熱中症で入院して様子を見ることになった。	51	715	11	1~ 9
2017	7	8~9	当社の倉庫で、今日の作業には特に必要のないロープで固定していた建設機械を触っていたとき、突然ロープが切れて機械が落ちて来たため、頸のうしろにあたり、転倒した。	29	379	4	1~ 9
			K-2岸壁荷捌地にて本船から揚げられた製材を被災者は7tフォークリ				

2017	7	15~16	フトを運転し、所定の位置まで運搬、配付け作業を行っていた。そして既に配付けされていた製材6束6段（1束：長さ4m幅0.7m高さ0.8m重量約1.5トン）の前に製材2束を配付けしようとしたところ、製材6束の配がくずれてきて、最上段の1束がフォークリフトヘッドガードに落下し押しつぶれたヘッドガードと座席に挟まれ負傷したものである。	43	523	5	1~ 9
2017	7	17~18	弊社倉庫で工事現場から帰社して道具を片付けている時刃のついたスクレバーが棚上から落下し、被災者の右足甲に突き刺さり、負傷した。	35	364	4	1~ 9
2017	7	12~13	遺族からの労災補償給付請求について、労災申請に関する意見書を提出し、業務上外認定の調査および判断に委ねたところ、下記（1）（2）により業務上の負荷が増加し、精神疾患に罹患して自殺するに至った、として業務上認定がなされた。（1）所長（部下13名）となり、業務に変化が生じたこと（2）職場の警備システムや当該社員が使用していたパソコンに記録された時刻から、在社時間が長時間に及んでいたこと	52	921	90	10 ~ 29
2017	7	13~14	会社敷地内で車輛の荷台を片付け中、荷台の上で足をふみはずし、車輛周辺に置いてあった機材の上に左側を下にする形で、転落した。（本人談）発生時には周囲に誰もおらず、推定30分後に、代表者が発見した際、本人はその場にうずくまっていた。	64	221	1	1~ 9
2017	7	11~12	吊り足場の中段足場にて検査を行っていたところ、検査に夢中になり、中段足場の昇降口に気付かず、1.93m下の主体足場の作業床に後落し、腰椎骨折した。	27	411	1	50 ~ 99
2017	7	16~17	自社車庫にて100tクレーンのウエイトを片付ける時に玉掛け者として合図をしていたが、100tのウエイトを置く場所に足を置いたまま荷を下げる様に合図したので被災した。	64	212	4	10 ~ 29
2017	7	15~16	外部足場で西面2階部分で窓廻りのコーキング作業中に気分が悪くなり、本人が自力で2階のエレベーターホールに移動した。そこで意	60	715	11	1~

			識がなくなった。					9
2017	7	16~17	客先にて雨水排水工事の際、砂利の地面にアルミ製の梯子を立てかけ、屋根（高さ約3m）に上がる途中、砂利で梯子が滑り、バランスを崩し、梯子と共に地面に落ち、腰と左手を負傷した。	48	371	1		1~9
2017	7	15~16	顧客が所有する敷地内にある高さ3m程の樹木（貝塚）を、3本足脚立の上から2番目に乗り、約2mの高さでバリカンを使って剪定していた。その時、脚立が不安定になり、バランスを崩し左側へ落下し転倒し、左手を強打し、手の甲3、4番を骨折した。	47	371	1		10~29
2017	7	14~15	約2mの高さの倉庫と境界フェンスの間に雑木が生えていたので、伐採するために倉庫の屋根に上って作業中、屋根が破損して転落し、右手肘を骨折した。	31	415	1		1~9
2017	7	16~17	鉄骨造解体工事の屋根部スレート撤去作業中に、屋根部のスレートを踏み抜き落下し、上半身及び下半身の打撲、右足距骨骨折、右肘擦過傷を負傷した。現場で屋根部に上る際に脚立を使用し、安全帯を安全対策用の親綱ロープにかけようとしたところ、鉄骨の劣化したスレート部分を踏み抜き、そのまま背面より落下した。鉄骨の劣化部分がスレートで隠れていたため、気づかずに踏み抜いた状況。	23	415	1		10~29
2017	7	14~15	屋根で作業中の作業員が誤って薬品をこぼして、下にいる作業員にかかってしまった。	54	519	12		1~9
2017	7	9~10	マンションの外側にある樹木を剪定の為に、三脚からコンクリートの塀に乗り作業していた。周りには外柵に囲まれた場所。作業中に足を踏み外し鉄柵に落下した際に、4本肋骨骨折と脇腹に鉄柵が刺さり（3~4本）出血、自分で鉄柵を抜き、地面に降りて他の作業員に助けを求めた。	67	419	1		1~9
2017	7	13~	構内タンク上部吊り足場折り返し部の先行解体で、吊木の0度側電線切断時安全帯のフック掛けをした状態では番線まで届かなかった為、安全帯のフックを親綱から外し番線を切断した。次の作業指示	37	411	1		10~

		14	を確認しようと折り返し部の集積した足場の上を通り戻ろうとした際中央部付近で吊り足場が傾き集積していた足場材と共に墜落した。					29
2017	7	16～ 17	自社の作業場にて型枠積み込み、積おろし中トラック荷台より足に落下し、右足親指骨折した。	62	521	4		1～ 9
2017	7	16～ 17	会社の作業ヤード内で作業中、蜂に刺されそうになりかんだ時に後の車両に尾てい骨をぶつけて負傷した。	56	231	3		10 ～ 29
2017	7	10～ 11	自社の資材置場で発生、草刈り作業中に足場板を移動している時に腰を痛めた。	22	921	19		1～ 9
2017	7	9～ 10	住宅解体現場において、被災者は、住宅内の二階より、下へ道具（ボール）を取りに行こうとした時に内部の階段を使用せず、高さ約1.5mのブロック塀へ飛び降りようとした際足を滑らせ、ブロック塀に横付けしていたアームロール車の荷台へ転落、負傷したものである。	45	221	3		10 ～ 29
2017	7	16～ 17	2tダンプの荷台上で、現場で発生したゴムシートをカッターで細かく切り分け作業中、作業が完了し、荷台から降りる際に、切り分けて山になったゴムシートと荷台のアオリ部に右足が滑り込む形で挟まったまま体制を崩して転落し、一時宙吊りになり、右足を骨折した。	59	221	1		1～ 9
2017	7	13～ 14	土壌の詰替場へフレコンを搬入後、詰替場内でフレコンの荷卸し場所の確認のため乗ってきたダンプより下車し、重機のオペレーターと打合せ中に、同じくフレコン搬入作業の2トンダンプの運転手が、合図者の誘導なしで後方をよく確認しないで後進し、打合せ中のところへ接触されて受傷した。	48	221	6		1～ 9
2017	7	15～ 16	アスコン敷均しの作業中、スコップで作業をしていた際に方向転換をしたところ、左足かかとが転圧作業中の振動ローラの右前軸と接触し、左靭帯を損傷した。	22	144	3		1～ 9

2017	7	10～ 11	側溝新設工事中、汚水マンホール高さ調整のため、ボルトを長さ20cmにベビーサンダーで切断中にはじかれて、左腕にあたり負傷した。	53	153	8	1～ 9
2017	7	16～ 17	会社が資材置場にて資材を移動させようとした際、資材が重かったためバールを資材の下部にかけて引きながらずらしていたところ、バールが資材と地面の間にはさまってしまった。バールを引き抜こうと力を入れて引いたところ、足場が不安定だったため後ろに倒れてしまい、勢いで後においてあった機械に右手の小指をぶつけて負傷した。	50	416	19	10～ 29
2017	7	9～ 10	ミキシングプラント上部でセメントの塊を崩す作業をしているとき、フィーダー（スクリュウ）が回転している状態で右手を入れて、中指第一関節を切断した。	40	149	7	10～ 29
2017	7	22～ 23	自動車に乗り込むために徒歩での移動中、仮囲いに使用していた仮設ガードレール（H700）を跨いで乗り越えようとしたところ、右足を引っ掛けてしまい、バランスを崩して転倒した。その際に右膝から着地したため、右膝を負傷した。	46	419	2	30～ 49
2017	7	12～ 13	ビルトインコンロを交換するため、コンロ下部にあるプレートを外す作業をする際、無理な体勢でドライバーを回したため右手首を痛めた。病院に行ったところ、捻挫と診断され、出勤（軽作業）しながら治療するのを待ったが、痛みが治まらず、再度病院を変えて診察してもらったところ、骨折（ヒビ）しているとのことだったので、会社を休み療養することになった。	53	364	19	10～ 29
2017	7	8～9	営業所にて、足場をトラックへ積込む作業終了後、積荷の調整用に使用していた鉄パイプ（長さ1m、幅5cm、重さ2.8kg）を、積荷の上にいる作業員から下にいる本人が受け取る際に、右手を差し出したところ、パイプが偶然右手薬指にはまってしまい、そのままパイプが倒れる際に重さに耐えられず、右手薬指を骨折した。	33	521	7	10～ 29

2017	7	9～ 10	境内において手洗い鉢の移動作業中、移動式クレーンで吊り上げた鉢を移動させる途中、段差に引っ掛かったため、鉢の下に手を差し込んでずらしたところ、段差から外れた鉢と地面との間に右示指を挟まれてしまった。	35	212	7	10 ～ 29
2017	7	14～ 15	建設解体工事現場で解体作業中、片付けをしていたとき、現場障害物に躓き体勢を崩し、転倒した。その際、基礎から立ち上がっているアンカーボルト（120mm）で脇腹から胸を裂傷した。	20	417	2	1～ 9
2017	7	16～ 17	工場内で穴あけ作業中、ボール板で穴あけをするときに切りカスが出るため、出た切りカスを左手で取ろうとして、皮手の先がドリルに巻き込まれてしまい、中指の皮がはがれて骨だけとなり、また、人差し指の第一関節を脱臼した。	71	152	7	1～ 9
2017	7	9～ 10	荷卸しされて横になった状態の鉄骨柱材上部をラフタークレーンのワイヤーで吊り上げ、同時に鉄骨柱材下部に敷いた台車を前方に押し出して、柱を垂直に引き起こす作業を行っていた。柱上部を吊り上げた際、台車を押さえていたところ、柱の自重によって台車が後方に押され、台車を押さえていた本人が、鉄骨柱材と後方に停車していた搬入車両に足を挟まれてしまい、裂傷を負った。	62	212	7	1～ 9
2017	7	11～ 12	個人宅改修工事において、1階外部の板金作業中、脚立を立ててトタンをあてていた際、土台が不十分でバランスを崩して倒れ、コンクリートの地面に転倒し、左手首を骨折した。	64	371	1	1～ 9
2017	7	14～ 15	関連会社施設において、テーブル（縦90cm×横150cm）の搬出中、テーブルをトラックの荷台（高さ約90cm）に積み上げる際、腰に過負荷がかかり、負傷したものである。	56	921	19	1～ 9
2017	7	16～ 17	バックホウのオイル点検中にバランスを崩し、バックホウの上から飛び降りた。片足を着地したが、下がコンクリートであったため、左足首を骨折した。	75	142	1	1～ 9
2017	7	14～	自社工場の切断機で鉄板を切断しようとしたとき、鉄板が下に落ちそうになったので、咄嗟に手を出してしまい、上昇してきた切断機	30	159	7	1～

		15	の台と鉄板の間に指を挟んでしまった。				9
2017	7	7～8	土木建築材料店に材料引取りに出向いた際、資材をダンプに積み込むためステップとして積んである敷石に乗り、ダンプの荷台に乗ろうとしたところ、敷石が崩れ、崩れた石が左足に落ち、足（踵）が挟まれ、踝辺りを切創した。	25	523	5	1～ 9
2017	7	9～ 10	2F廊下において材料を運搬中、足を滑らせ転倒し、その際に左手をつき骨折した。	61	417	2	1～ 9
2017	7	11～ 12	立て掛けてあったボードの中から一枚を引っぱり出そうとして、重さに耐えきれず倒れてしまい、下敷きになった。	20	529	5	1～ 9
2017	7	9～ 10	鉄骨荷下ろし作業時、トラック積荷の上体が反対方向だったため、地切後、荷を回転させながらゆっくり荷下ろししようとしたとき、荷を掴んだ手が滑り、落ちそうになったので飛び降りた際にバランスを崩し、左肩から墜落した。	30	221	1	10 ～ 29
2017	7	19～ 20	会場施工工事で、会場に備え付けの台車を、施工の妨げにならないよう、会場に隣接する収納庫へ収納するため、牽引しながら運んでいた。その際、勢い余った台車が、牽引していた被災者の左足に乗り上げる形で接触した。	26	362	6	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	工場内で内作中、脚立（2m）からバランスを崩して転落した際に左手首をついたため、左手首を骨折した。	20	371	1	1～ 9
2017	7	12～ 13	当社施設においてダンボール箱を足で踏み潰す作業を行っていた。その際にダンボールの上で右足が滑り、垂直に沈む形で体が倒れたので、右手で体を支えようと手をついた際に右手首を骨折した。	44	611	2	10 ～ 29
2017	7	17～ 18	現場作業から戻り、会社倉庫にて、設備工事の際に腰に引っ掛けて使う各種道具を、各棚に後片付けしていたところ、会社倉庫の段差に躓いて右足を引っ掛け、足首を伸ばした。	40	418	90	1～ 9
2017	7	8～9	事務所前作業場において、ポンプ車の後部に乗って配管を点検中、雨が降っていたため、足を滑らせて後ろ向きに地面に落下した。そ	39	149	1	10 ～

			の際に右肘をつき、右肘を骨折した。					29
2017	7	9～ 10	バスケット車のボックスに乗って、松の伐採作業中、次の枝を伐採するためにボックスを移動中、左手にはめていた手袋がバスケット車のウインチとボックスの間に挟まれ、左手が手袋と共に持っていられ、左手の小指等を負傷した。	63	146	7		1～ 9
2017	7	11～ 12	墓所の工事中、コンクリート片を入れた土嚢袋を積んだトップカーで、道幅1m位の急な坂道をバックで降りている際、左側面の石垣に当たりそうになった。ぶつかるのを避けるため、右に急ハンドルをきったときに、体ごと捻じって左足を負傷した。	60	921	19		1～ 9
2017	7	14～ 15	4階でダクトの吊りこみ作業中、壁際にダクトを通そうとした際、台車の上にボード材（182cm×91cm、重さ16.1kg）が9枚のせてあり、邪魔になったため移動しようとしたところ、台車からボード材がずれ落ちてきた。支えようとしたが重さに耐えきれず、背面の窓に倒れ込み、窓枠に左鎖骨を打ちつけて負傷した。	32	529	6		30 ～ 49
2017	7	15～ 16	作業場にてプレハブの撤去作業中に、敷地内のマンホールに足が引っ掛かり転倒し、右足首を痛めた。	66	416	2		1～ 9
2017	7	15～ 16	事務所敷地内において、社員全員で4tトラックの整理作業を行っていた際、被災者は4tトラックの上で荷おろし作業を担当していた。鉄板（800kg）を降ろすときにバールで隙間を作っていたところ、バールが跳ねて、それを避けようとしてバランスを崩して、トラック上より飛び降りて、右足踵を負傷した。	44	221	1		10 ～ 29
2017	7	15～ 16	工場内、作業加工場にて重さ約60kgの材料（加工前屋根材、コイル、ガルバリウム鋼板）を整頓作業中、材料が倒れるなどの落下があり、それを保護するように右手で材料を受け止めた。その際、材料と床とで右手を挟まれ、右手を負傷した。	26	521	5		1～ 9
2017	7	11～ 12	第3地区発掘調査において、営繕用地整備のため、斜面地の除草作業を行っていた。斜面高さ1.5m程のところから木の枝を掴み降りようとしたとき、木の枝が折れて落下し、側溝に右膝を強打して骨折し	61	417	1		30 ～

			た。				49
2017	7	11～ 12	現場において、屋根上で瓦の運搬中、誤って左足首に瓦を落下させて受傷したものである。	47	529	4	1～ 9
2017	7	10～ 11	草刈り作業の依頼を受けた現場で、作業中に誤って鎌で左手を切ってしまった。	53	379	8	1～ 9
2017	7	9～ 10	工場の3号キルンEP出口ダクトにて、修理箇所の点検をするため、被災者と製造係員の2名でダクトの内部に入った。被災者が整流板横を通って隣のダクトに移動しようとしたとき、幅約200mmの直管部を歩行中に足を滑らせ、3.6m下のルーバーダンパー上に転落した。点検作業時、被災者は安全帯を着用していたが未使用であり、親綱もなかった。また、ダクト内は照明がなく、足元が暗かった。	68	418	1	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	屋根に登り、2階側面を高圧洗浄中、ガンを持ったまま足を滑らせ転倒し、屋根から転落した（高さ3.6m）。その際、ヘルメットと安全帯は未装着であった。	50	415	1	1～ 9
2017	7	13～ 14	平らな山林で、周囲は杉（立木）に囲まれており、伐採した杉が5～6本乱雑に倒れた状態であり、チェーンソーを使用して伐採作業をしていた。このとき、切り倒した杉が立木に当たった反動で被災者の方へ倒れ、先に伐採していた杉との間に足を挟まれ、付いていた枝が右脛に刺さり、穴があいた。	39	712	6	1～ 9
2017	9	10～ 11	現場内において、測量用杭（タルキ）打ち作業中、被災者が杭を押さえ、同僚が掛矢で杭を打っていた処、誤って押さえていた杭の天端に右手を置いてしまい、同僚が振り下ろした掛矢が右手指示付近に当たり、負傷したものである。	59	364	7	1～ 9
2017	9	11～ 12	墓地で工事をしていて（山のような所にある）坂道を下って歩いている時に、足をすべらせて転んだ。その時、足のくるぶしとかかとの骨を折ってしまった。	45	711	2	10 ～ 29
							10

2017	9	10～ 11	事務所前で4t車に資材の積み込み中、玉外しをして荷台より降りる時に左足をくじいた。	26	221	19	～ 29
2017	9	15～ 16	法面で、集草作業をしているときに、足を滑らせて滑落し地面に身体をこすられ、切株に脇腹を打ちつけ、上記傷病となり12日間休業した。	41	711	1	1～ 9
2017	9	9～ 10	庭園で庭木の剪定作業中（庭木2mくらい）、脚立の2段目（0.5m）くらいのところから、体のバランスを崩して落下した。落ちたところに庭石があったため、石に左手首、左肘を強打し、（骨折）負傷した。	35	371	1	1～ 9
2017	9	10～ 11	第5工場内、喫煙休憩所天井清掃作業中（天井高2.7m）に、石こうボード（90cm×90cm）の天井を踏み抜き、休憩室の床に落下した。	28	415	1	1～ 9
2017	9	10～ 11	被災者は、解体工事現場で、解体工事のための杭打ち作業を行っていたとき、杭を打ち込むためのハンマーを振り下ろした際に打ち損じてしまい、ハンマーの柄を握っていた右手の人差し指を杭の頭で挟んでしまい負傷した。	24	364	7	10 ～ 29
2017	9	12～ 13	交差点にて信号待ちをしているところに、後方より追突された。	48	231	17	30 ～ 49
2017	9	18～ 19	都内駐車場アスファルト撤去工事から当社に戻り、現場で使用したパワーショベルのバケットを、盛り土（50cm程度：バケットの収納場所）の上に被害者（下請会社社員）が外し終え、地面にとび降りたところ、転倒してしまい、かつ地面に背面を強打したうえ、同時に収納場所へ移動を開始した当該重機（外注社員操縦）のキャタピラに轢かれ右腕等を受傷したものである。	45	141	7	1～ 9
2017	9	11～ 12	資材置場にて、廃材分別中に、ブロックベイがたおれてきて、右足の足首とふくらはぎを骨折した。	20	523	5	1～ 9

2017	9	10～ 11	改修工事にて、鉄筋加工中に誤って鉄筋に左足の親指を強打した。 当日は、痛みを我慢し仕事を続けたが翌日になり腫れがひどくなっ たため、病院へ行った。	31	521	4	1～ 9
2017	9	15～ 16	現場作業を中断し、翌週使用する作業道具移動のため、本人自宅か ら現場作業道具等を事務所に移動する際に自宅アパートの階段にお いて、バランスを崩して転落し、被災した。	54	413	1	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	歩道部での堀削作業中、重機での堀削が困難な場所のため、①地点 にて、被災者が人力堀削を実施。人力堀削が完了して堀削溝から出 るため、被災者が①→②へ移動中、被災した。	37	711	5	10 ～ 29
2017	9	14～ 15	上記日時頃、解体工事現場に於いて、ダンプトラックの荷台に乗 り、廃材積み込み作業中、地面に落下、悪天候（雨）の為、足元が 不安定になり、落下の際、左膝と右肘を強く打撲した。	45	221	1	1～ 9
2017	9	11～ 12	資材置場に於いて不良鉄アングル（約15kg重）を整理中、左足の甲 部（安全靴使用）鉄のない部分に落とし、負傷したものである。	67	521	4	1～ 9
2017	9	8～9	河川敷にて草刈作業中、肩掛け式草刈機の刃が木の根に当たって キックバックをおこし、右足のひざ下部に当たって負傷したもので ある。	70	169	8	1～ 9
2017	9	9～ 10	電動丸のこを使用しようとして、スイッチが入りになっていてロッ クされていた、それを知らずに、コンセントを入れたら地面に置い ていた丸のこが、暴れて歯が左足の親指に当たり、深く切れた。	46	131	8	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	発注で、圧送に所属する被災者は災害当日、ベタ基礎打設中、残り 0.5?位の時、ポンプ車の1番ブームの根本が折れ、3番ブームのガイ ドがホースをかかえて作業中の被災者の上に落下した。	64	149	4	1～ 9
2017	9	13～ 14	解体工事現場の1階足場において、同僚の反対側へ向かう際に、住宅 のひさしが足場近くまで飛び出ていたため、ひさしを伝わって乗り 越えようとひさしに足をかけ体重を乗せたところ、ひさしが壁から はがれ、そのまま約3メートル下の地面に落下、右足を負傷した。	46	415	1	10 ～ 29

2017	9	16~ 17	<p>脱水槽、攪拌軸を吊り上げ搬出するため、4名で作業を実施した。</p> <p>吊り上げ班2名（被災者）が玉掛をし、5t用電動チェンブロックで巻き上げを開始した。攪拌軸を1.5m程吊り上げた時に軸に付いている攪拌翼が、インターナル管に引っ掛かり、吊りワイヤーが破断して、攪拌軸が落下した。支えていた2名が軸に当たり、被災した。</p>	36	372	4	1~ 9
2017	9	16~ 17	<p>脱水槽、攪拌軸を吊り上げ搬出するため、4名で作業を実施した。</p> <p>吊り上げ班2名（被災者）が玉掛をし、5t用電動チェンブロックで巻き上げを開始した。攪拌軸を1.5m程吊り上げた時に軸に付いている攪拌翼が、インターナル管に引っ掛かり、吊りワイヤーが破断して、攪拌軸が落下した。支えていた2名が軸に当たり、被災した。</p>	27	372	4	1~ 9
2017	9	12~ 13	<p>継手漏洩予防対策のこ工事において、被災者は午前中、道路の堀削作業を行っていた、堀削作業中にスコップを振り上げた際、堀削溝横の消火栓の鉄蓋に右手小指を接触した。当日の作業はそのまま継続して行った、作業完了後に現場監督に右手小指を痛めたことを報告した。後日、被災者より痛みがひかず病院にて診察を受けたところ、右手小指の付け根骨折と診断されたものである。</p>	64	391	3	1~ 9
2017	9	14~ 15	<p>塗装、樋工事現場で被災者本人が2階バルコニーの中で脚立に乗り樋の取り付け作業中に物干し竿の固定金具に捕まった際に、固定金具のボルトがはずれてバランスをくずし地面に転落し、顔の擦過傷、左手首を骨折した。</p>	43	371	1	1~ 9
2017	9	10~ 11	<p>RC進4F建物K棟建屋解体後、K棟コンクリートがら集積場において、0.7?バックホウにマグネットアタッチメントを取り付けコンクリートがらと鉄筋くずの仕分け作業をしていた。被災者は、コンクリートがらの中にゴミを見つけ、ゴミを取ろうと重機作業半径内に立ち入った。重機オペが被災者に気付いていない状況で、旋回およびアームを伸ばした事により、マグネットアタッチメントが被災者の脚に接触し、被災した。</p>	53	142	6	1~ 9
			<p>型枠を作成中、仮に柱に立掛けてあるコンパネ（1600×900重さ約</p>				

2017	9	14～ 15	15kg木製)の下に置いてあったベニヤをしゃがんで引っ張った際、コンパネが倒れ首の後ろをコンパネの側面が直撃し負傷した。	25	522	5	1～ 9
2017	9	10～ 11	測量をするための杭を立てようと、地面に鉄ピンをさして石頭ハンマーで叩いたところ、鉄ピンの頭が欠けてしまった。その際に破片が左足ふくらはぎに飛んできた為、ふくらはぎに突き刺さって負傷した。	68	364	4	1～ 9
2017	9	9～ 10	朝から工場内にて工事の段取りをしていた、棚の上に置いている材料を引き出してトラックに積み込む為、移動した時、腰を痛めたもの。	37	921	19	1～ 9
2017	9	15～ 16	テナントビルにて壁面看板の取り付け作業中、地上から高さ3mの屋根の上を歩いているときに、雨で屋根が濡れていたために、足を滑らせ地面に転落し、頭部全身等を打撲したものである。	31	415	1	1～ 9
2017	9	15～ 16	民家駐車場工事現場で、梁角パイプの位置決め固定中に角パイプを固定する万力が不完全に固定された状態で荷締機で引張って微調整をしていたため、万力が外れて反動で移動した角パイプが腕に当たり、左前腕を骨折した。	59	379	6	10 ～ 29
2017	9	17～ 18	当社北側資材置場で、翌日の現場準備をする為、2tユニックの荷台に立ち、資材を積み込んでいたところ、足をすべらせ荷台から転倒し、右腕部及び右側肋骨を骨折した。	32	221	1	10 ～ 29
2017	9	11～ 12	工業所配管取付工事現場に於いて、作業場内を移動中、錆びたボルトが上向きにあり、誤って右足で踏んでしまい、右足土踏まずに刺さり負傷した。	23	521	9	1～ 9
2017	9	11～ 12	建設の竹林伐採現場で、竹を刈り払い機で刈り払ったところ、キックバックして左足の足首に当たり切創した。	52	139	8	30 ～ 49
			個人宅、電話モデム交換工事にて、2階外壁に設置された電話交換機器の取り外し作業を終えはしごから降り、玄関先階段を下りる際、				10

2017	9	11～ 12	手に持っていた電話交換機器を落としそうになり、体勢を崩したところ、右足を階段から踏み外し、転倒落下、右足首強度の捻挫及び右肘に裂傷を負った。	27	413	1	～ 29
2017	9	16～ 17	工場焼却炉内等点検委託において、3号炉内足場仮設中に仮設階段を使用して4階から3.5階に下りるために階段を一段下りたところ、仮設階段の上部フックと足場単管パイプの掛かりが悪かったため、階段が外れて、被災者が階段と一緒に3階作業床まで3.8m墜落し、左足首を受傷した。	57	411	1	1～ 9
2017	9	11～ 12	架台製作中、資材を加工する際にドリルを使用し、キリが資材に挟まりハンドルに右手を巻き込まれて右薬指と小指を負傷した。	23	151	7	10 ～ 29
2017	9	14～ 15	船のホールド上でバケットの吊りワイヤー及び開閉ワイヤーの取り替えと平バケットからオレンジバケットの取り替え作業時、ホールド上にあがり振れ止めワイヤーをブームに取り付け中、なれなくて手間がかかりホールドの下で他の者が振れ止めワイヤーを押さえきれず、その結果ワイヤーに引っ張られる状態になりホールド内に落下した。	39	411	1	10 ～ 29
2017	9	7～8	当社営業所ヤード内にて足場部材の積み込み作業中、両手に抱えた手摺り材数本をトラック荷台に置いたところ、荷台に仮置きされていた単管（直径48.6mm、長さ1m、重さ2.73kg）に当たり、うち1本の単管が被災者側に落ちてきてしまった、咄嗟のことで避けきれず、安全靴により保護されていない右足小指付近に当たり負傷したもの、その日はそのまま作業を続けたが、次第に痛みが増す為、就業後に受診したものである。	24	221	4	1～ 9
2017	9	16～ 17	AHの中温エレメントを既設電動ホイストで抜き出していた、被災者がエレメントの抜き出し補助と振れ防止のため右手をエレメント側面に添えた、その後左手をエレメント上部に添えようと上昇中のエ	29	211	7	1～ 9

			レメントを見下ろしたまま左手を不用意に伸ばした時、ホイストのワイヤーロープと滑車に左手薬指と小指を挟まれ被災した。				
2017	9	11~ 12	高さ2.5~3Mくらいの牛舎の屋根上にて、荷揚げした長さ9Mの屋根材を作業場所まで運ぶ最中、足を踏みはずし、下地の無い所を踏んでしまい、屋根が抜けて落下した。下にあったエサ用の舟に落ちてしまい、右脚の負傷、肋骨3ヶ所、背骨2ヶ所、腰骨1ヶ所、肩甲骨の下を骨折に至った。	65	415	1	10 ~ 29
2017	10	13~ 14	建物外部入口上部に看板施工のため現場調査中、入口前に脚立を立て登って採寸等の作業中、誤って脚立より落下。左足及び左手首を負傷。	55	371	1	1~ 9
2017	10	10~ 11	地下1階設備機械室内で既設の膨張タンク（600φ×1923H タンク容量500?）を4人で押さえながら傾けたところ、膨張タンク内のゴムが破損していた事に気がつかず想定外の水（500?程度）が入っていた為、4人では支えきれず膨張タンクが横倒しになり少し転がった時に、作業員1人の右足が膨張タンクと床の間に挟まれた。原因として、通常はチェンブロック等の工具を使用して撤去をするが、今回撤去する膨張タンクがステンレス製であった為、職長が軽いと判断し人力での作業で進めてしまった。	44	391	8	1~ 9
2017	10	16~ 17	工事現場のローラー作業が終了したので、事務所に運んできたローラーを片付ける作業をしたいた。当社従業員が、後方にいた別の当社従業員に気付かずローラーをバックして右足を轢いてしまった。この事故で右腓骨骨折、右甲足骨骨折のケガを負った。	48	144	7	10 ~ 29
2017	10	11~ 12	4tダンプトラックの荷台の上で、クレーン仕様バックホーによる大型土のう袋の荷降ろし作業中、荷台の上で大型土のう袋がある環境で、旋回方向の位置から退避しないまま合図を行い、荷が迫ってきたため、荷台より飛び降り着地した際に右足かかと部を被災した。	52	221	1	10 ~ 29
		14~	工事現場に於いて、ポリ管にビニールテープを貼っていて、テープをパイプカッターで切ろうとしたところ、なかなか切れなかった				10

2017	10	15	為、力強くテープを切った時に、テープを持っていた左手の薬指も一緒に切ってしまった。	37	379	8	～ 29
2017	10	16～ 17	除草作業の為に、車のトランクより道具を取り出そうとしていた。風が強いなか、バックドアを開けて道具を出し入れしていたが、突風が吹いたのでバックドアが壊れると思い、焦ってドアを閉めたのだが、被災者の頭がドアの下にあった状態で閉めた為、被災した。	40	231	7	10 ～ 29
2017	10	14～ 15	共同住宅解体工事で、資材置場で木の整理中に木材を積み上げていたところ、木材が崩れ出て右足に当たり骨折した。	71	522	5	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	解体現場にて養生の為、ブロック塀際の土間コンクリートの上に鉄板を敷設していた際、バックフォアのバケツにて鉄板を叩いていた。叩いていたバケツが滑り、ブロック塀に激突した際に誘導していた被災者の手が挟まれて負傷した。	29	142	7	30 ～ 49
2017	10	8～9	2世帯住宅の2階浴室改修において、システムバス組立作業中、直下の1階浴室荷重をかけ、1階浴室天井が崩落、同等に左第10、11肋骨を折った。	46	418	1	10 ～ 29
2017	10	14～ 15	道路排水溝の、U字溝コンクリート蓋の穴のすき間にハイヒールが入ってしまい転倒して、骨折、捻挫をしてしまった。	52	418	2	10 ～ 29
2017	10	14～ 15	工場北側出荷室の屋根上部を横断していたケーブルを高所作業車にて東側屋根端部で切断撤去後、面側にて脚立を使用して撤去作業を行った。（面側は車両駐車中で高所作業車の設置が出来なかった）壁面の結束を外し、ケーブルを引き始め、端末が屋根端部に到達した時、屋根上部よりケーブル（重量:4kg～16kg）が落下し、作業者の肩に乗ってしまい、バランスを崩し脚立ごと転倒し、肘と骨幹部（左腕）を骨折した。	65	371	1	10 ～ 29
			コンクリート枕木（150kg）を2名で引きずりながら移動中、腰がグ				10

2017	10	2～3	キとなり、左腰から膝までしびれた。	29	911	19	～ 29
2017	10	23～ 24	一斗缶を持ち（右手で）当事務所の6Fに荷作業をしようと思い当事務所1F～2Fにある階段で足を滑らせ、左手首は手のヒラ側、右手首は手の甲側で無理な形でついてしまい、転倒（その際右手首はグキッ音がした）転倒の同時に頭もコンクリート階段に打ち（首を左側にひねりながら）、その後右手首や右肩などの曲がりや上り方に問題があり（右手首は動かず、右肩はピクピクした感じ）、仕方なく無理して作業を続けたが、体が思わしくなかった。	49	413	1	1～ 9
2017	10	17～ 18	会社の置き場で道具の整備や、トラックの荷台の清掃をしていた。トラックの掃除が終わり、荷台から飛び降りた際に右足かかとを強く打ち骨折したものである。その日の作業を終え、帰宅。	51	221	3	10 ～ 29
2017	10	13～ 14	自社事務所にて、蛍光灯の取り換え作業の為机に乗り降りる際、転倒し床に左膝を強く打ち胸部を負傷し救急搬送された。	56	379	1	1～ 9
2017	10	16～ 17	事業場の資材置き場に於て解体資材の整理作業中、資材を取ろうと階段を上っている時、誤って段を踏み外してしまい、転倒した拍子に地面まで転落し背中と腰部を打った。帰宅して安静にしていたが、痛みが治まらなかった。	61	413	1	1～ 9
2017	10	11～ 12	造園工事において、一箇所に集めていたゴミを持つとした際、ゴミの中に苧込バサミが入り込んでしまっており、その苧込バサミで右手中指を切ってしまった。	30	364	8	1～ 9
2017	10	10～ 11	機械・道具の点検・整備作業中、ガラス施工機（重さ約65kg）を移動しようとしてしゃがんで持ち上げようとした際、不意に腰部を捻り負傷したものである。	43	612	19	1～ 9
2017	10	17～ 18	建具調整工事での作業が終わり、自社に戻り、駐車場でトラックの荷台に積んでいた。現場で使用した道具が落ちてしまい、それをもとに戻そうとして車から下りる時に、足を滑らして転倒し左手と頭部を負傷した。	70	221	1	1～ 9

2017	10	10～ 11	足場の上で養生し、作業終了後、足場の手摺に乗ろうとした際、足を滑らせて足場から落下した。安全帯は腰道具に付いていたのだが、足場に付け忘れてしまい事故が起きた。	29	411	1	1～ 9
2017	10	17～ 18	会社の階段で足を踏み外して両膝を強打した。原因としては荷物で足元が見えず周りが暗かった。	56	413	2	1～ 9
2017	10	9～ 10	工場にて塗装工事ローリング足場で屋根下場作業中、スロープがあり道板を胴縁にかけて作業中、胴縁にかかっている板がはずれて高さ3.5m位の所から落下した。	52	411	1	1～ 9
2017	10	11～ 12	本館2階の、食生活実習室を内装解体時に、天井の木部材を撤去しようとして、吊天井に上がりバールで作業中に、横に移動して作業を行う際に足元の部材が木材からスチールに変わり換気レンジの所から先も頑丈と思い移動したところ、スチールの天板と一緒に床に転落し、腰を負傷した。	50	521	1	10 ～ 29
2017	10	10～ 11	看板シートめくりをするための仮設足場（高さ約3m）にいた時にバランスを崩して足場より転落した。	44	411	1	1～ 9
2017	10	16～ 17	本社での事務作業終了後、出張先（新築工事作業所）近くの借り上げ社宅に帰るため、新幹線の階段を上っている途中足を踏み外し足を咄嗟についたらつき方が悪く膝を捻って負傷。	26	413	1	30 ～ 49
2017	10	9～ 10	当社内事務所下廃材置き場において廃材の分別仕分けを行っていた。左足を廃材上に載せた際、足場が悪くバランスを崩し廃材上に倒れた。その下にあったアンカーボルトに接触し引っ掛けた状態で負傷したもの。	66	416	2	1～ 9
2017	10	17～ 18	車庫で整理中にトランクの積み荷に頭をぶつけてケガをした。	32	522	3	1～ 9
2017	10	13～ 14	3階建て住宅の外壁高圧洗浄作業中、雨天のなか脚立を使用し、足を滑らせ、脚立6段目付近より落下し腰椎横突起骨折した。	21	371	1	1～ 9
			工場内でのボイラー清掃作業において点検口から点検口用ステージ				

2017	10	11～ 12	に出た後フロアーに降りる際、梯子を使用せずに下降した。その際転倒し、フロアーに置いてあるコードリールに左胸部を打ち肋骨を骨折した。	61	311	1	1～ 9
2017	10	13～ 14	リフォーム工事の敷地内で屋根部材を荷揚げ機に作業中、足場に立て掛けていた屋根材の一部を持ち上げた際、突風により残りの屋根材が倒れ、下半身が下敷きとなった。	42	529	6	1～ 9
2017	10	10～ 11	市営住宅の高木剪定中に、枯枝を踏んでしまい、枝が折れたため、高さ4～5mのところから落下した。木の傍に高さ2mくらいのフェンスがあり、落下途中にこのフェンスに当たり、歩道に落ちた。	37	712	1	1～ 9
2017	10	15～ 16	本社工場内において工場内を整理するためH鋼（鋼材）重さ約40キ口を両手で移動させていたところ誤って鋼材が倒れ、右手人差し指を負傷した。	45	521	7	1～ 9
2017	10	11～ 12	当社倉庫内にて、仮設資材の整理作業中、足場支柱を立てる部材のジャッキ（3.1kg、60cm）を7～9本かかえて移動させる作業中、バランスを崩し、転倒した。部材を持った左手を下にあった部材に挟み負傷した。材料を多く持ちすぎたこと、転倒した時に材料をはなさなかったことが負傷の原因と考えられる。	28	416	2	10 ～ 29
2017	10	10～ 11	撤去工事現場にて鉄塔及び局舎の解体を開始し、作業開始1時間後に1回目の休憩を実施した。休憩中に音がしたので、現場に行くと被災者が倒れており、解体建屋の屋上より転落したと思われる。	63	414	1	1～ 9
2017	10	10～ 11	現場から産廃処理場まで土を運ぶため、ダンプに土を積み込み、ダンプのキャビンにのった際にバランスを崩し、足を滑らせ、そのまま落下（高さ2m弱）し、地面にあった大きい石に横腹を強打し、受傷したもの。	65	221	1	1～ 9
2017	10	9～ 10	解体工事において、家屋解体作業で電話線の切断の作業中に電話線のワイヤーが切断の弾みで跳ね返り、自分の所へ向かってきたので、それを避けようとしてバランスを崩し、後方へ倒れ込み道路に転倒した。その際、胸と背骨を骨折した。	28	419	2	1～ 9

2017	10	14~ 15	会社ヤード内で資材整理作業をしているときに単管の上に乗って作業中、乗っていた単管が崩れてトラックから落ち、足を地面についた際ケガをしてしまった。	21	221	1	1~ 9
2017	10	9~ 10	本人は、管設置場所において、ビデ足場と鋼管パイプで組み立ててあった足場を解体する作業に従事していた。鋼管パイプを分解中に、鋼管パイプのクランプを外し作業を行っていたとき、足場2段目（約3m）から滑り、転げ落ち負傷したものの。	38	411	1	30 ~ 49
2017	10	17~ 18	冷凍庫クーラーダクト氷落とし作業時に床に落ちた氷をほうきで掃除していたところ、足を滑らせ左膝を受傷した。	60	417	2	1~ 9
2017	10	11~ 12	外壁改修工事作業に於いて、足場上で中腰の姿勢で電動グラインダーを使用した作業中に体の体勢を変えようとした際に腰を捻って痛みが走り負傷した。	41	153	19	1~ 9
2017	10	16~ 17	道路上に汚泥吸引車を駐車して道路横断内の清掃作業を上流側より行っていたとき、下流側の溝内に水が溜まり始めたので、急ぎ吸引しているホースで水を吸わせようとしてホースを水につけたところホースが引っ張られ、不安定な体勢でホースを持っていたため、バランスを崩して左足首を捻った。踏ん張っていたが落ちそうになったため、側溝内に飛び降りて転倒した。起き上がるときに左足に痛みを感じた。痛みの原因がバランスを崩し左足首を捻った時なのか、飛び降りて転倒した時なのか一瞬のことで本人もわからないとの事である。	50	419	3	30 ~ 49
2017	10	4~5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のため、ハンドルを切ったが間に合わず、対向車線上で衝突した。	38	231	17	1~ 9
2017	10	4~5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のため、ハンドルを切ったが間に合わず対向車線上で衝突した。	49	231	17	1~ 9
2017	10	4~5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のため、右ハンドルを切ったが間に合わず対向車線上で衝突した。	33	231	17	1~ 9

2017	10	10～ 11	鉄筋切断作業中に近くにあった発電機から排出される一酸化炭素を吸った事により一酸化炭素中毒となった。	22		12	1～ 9
2017	10	13～ 14	建物2階部分の外壁施行状況を確認していたところ足場より、足を踏み外して転落。左肋骨、胸椎横突起骨折。	37	411	1	1～ 9
2017	10	14～ 15	4tから産パイガラを荷卸時、ガラが4tダンプ開閉場所に挟まりそれを取り除こうとした際、左手を挟まれ負傷。	27	222	7	—
2017	10	16～ 17	資材置き場の看板のクラップが緩んでいたため、締め直そうと脚立にのぼり屋根にのぼろうとしていた時に、滑り、後ろ向きに砂利に落下した。その際、左手（ひじ）と尻付近を負傷した。	40	371	1	1～ 9
2017	10	9～ 10	土木作業員の被災者が1人で解体後の分別をするために地面に落ちている木を拾っている時に、上部で切断していた鉄板が落ちてきて下敷きになり左肋骨を骨折した。	57	331	4	1～ 9
2017	10	13～ 14	材料の積み降ろし中、トラックから転落した。	55	221	1	1～ 9
2017	10	16～ 17	法面にて草刈機を用いた集草作業終了時に機械のエンジンがかかった状態で反転機に絡んだ草を除去しようと右側前方の本番キャタピラと反転機の間に入れた際、首にさげていたコントローラーのレバーが反転機と接触した。そのため機械が前進し被災者がキャタピラに接触し転倒、右大腿部をキャタピラに轢かれた。	34	169	6	10 ～ 29
2017	10	8～9	朝礼後、1F外部足場外側に立て掛けてあったワイヤーメッシュ13枚を固定していたトラロープを外し7枚を玉掛けしようとした際、立て掛けていたワイヤーメッシュの角度が垂直に近かったため、被災者に倒れてきた。	29	521	5	10 ～ 29
2017	11	9～ 10	被災当日、積雪による通行障害となる樹木伐採の緊急要請があり、管理業務の一環として出動し、現場にて樹木一部を伐採後、作業位置を修正するため車両移動の際、車両後方の操作盤にてアウトリガーを上げると、作業場所が雪の坂道であったために車両が滑り出	64	146	7	1～ 9

			し、後方に停めてあった2tトラックとの間に挟まれ負傷した。				
2017	11	16～ 17	駐車場建設においてP看板を立てる際、角度調整を水平器を使って調整していたところ、バランスを崩し脚立から約2.5m下に転落し左足首を捻った。	31	371	1	10 ～ 29
2017	11	15～ 16	建物南側において、作業床を設置するための十分な道幅がなく、かつ天面に高所作業用の丸環が設置されていないため、梯子を用いて作業を行う段取りを行った。梯子固定の為に梯子手摺り部に付けていたカラビナを調整するために梯子を昇降していた際、突風に煽られ、補助員が梯子を押さえていたが耐え切れず梯子ごと転倒した。転倒した際に右手と右膝を地面に強打し、骨折した。	37	371	1	500 ～ 999
2017	11	13～ 14	被災者は、バックホウ作業が終了し、エンジンが停止したことを確認後、フレコンに取り付けるタグに記入する内容確認のためフレコンの中ほど（地面+50cm）に記載されている記号を順番に確認しながら前屈みの下向き体勢でバックホウの近くを移動していた。一方オペレーターはバックホウから降りようとして扉を少し開けかけた時、後方から近づく被災者に気づき半開き状態を保持して（取っ手を持って）待機していた。被災者はその扉に気付かず、立ち上がろうとした時にバックホウ扉の角にヘルメットごと頭をぶつけ負傷したものである。	68	142	3	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	工場内にてサブレを仕込むためミキサーに材料を入れるため踏み台に乗っていたおり、降りる際に踏み外してしまい左膝を強打し、負傷してしまった。	64	417	2	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	当社資材倉庫にて翌日の現場作業準備中に、H鋼の破片に足が引っ掛かり前のめりに転倒してしまった。その際、右脇腹を足場パイプに強打した。その後、痛みが引かないため病院に行った。	62	521	2	—
2017	11	16～ 17	自社資材置場において、ユニッククレーンにて資材積み込み作業中に、クレーンの旋回を見ていて足元の段差に気付かず、段差下で右足を捻り、右第5趾中足骨を骨折した。	49	418	19	1～ 9

2017	11	12～ 13	公園内の工事現場でクレーン付4tトラックの荷台に乗って、トラッククレーンで伐木を積み込み中に、吊り荷が回転して、リモコンでクレーン操作をしていた被災者がトラックの荷台と吊り荷の間に挟まれた。	55	212	7	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	発掘現場にて、しゃがんで図面作成中に担当者に声をかけられ、立ち上がろうと後退した時、すぐ後ろにあった小穴（直径30cm、深さ20cm）で足が滑って転び、右手首を骨折した。	63	416	2	30 ～ 49
2017	11	8～9	FRP管φ500の荷卸し作業の時、クレーン式バックホウで上部管材を吊り下ろしする作業の時、管を束ねるスリング材を管に回す作業を手伝おうとした被災作業員が、管から足を滑らせ落下し、着地した位置にレバブロックがあった為、左足を被災したものである。	65	521	1	10 ～ 29
2017	11	16～ 17	自社工場において、作業中に鉄板上を移動していて、バランスを崩し転倒し、左手をついた際に、同部を負傷した。	52	416	2	1～ 9
2017	11	11～ 12	被災者が会社の資材置場で移動式クレーンの鋼材玉掛けをしていた。鋼材にワイヤーを掛けて吊り上げようとした時、親指を挟んだまま、吊り上げてしまった。材料の整理作業中であった。	23	212	7	10 ～ 29
2017	11	15～ 16	解体現場内で廃材を4tトラックに積み込む作業中、トラックの荷台の上で廃材を整理していた時、足元が不安定だったため、足を滑らせてトラック荷台（高さ2.5m）から転落し、頸部及び頭部を地面（コンクリート）に強打し、受傷した。（保護帽、安全靴着用）	40	221	1	10 ～ 29
2017	11	15～ 16	以前、田んぼだった所に資材置場を拡張する工場を施行しており、盛土した脇の溝に砂利や土を入れる作業をしていた。ここ数日の雨で地盤が緩んでおり土留めで補強しながら進めていった。事故が起こったのは、その土留めを設置している途中に土が崩れ水の溜まった溝の中にいることで足が滑ってしまい、逃げる間もなく巻き込まれてしまった。	48	711	5	1～ 9
			会社の倉庫において、トラックから資材や荷揚げ用ウインチ等の荷				10

2017	11	15～ 16	降しをしていた。作業終了後、荷台から地上に降りた際、バランスを崩し転倒し、近くに積み上げてあった構造用合板に顔をぶつけ負傷した。	69	221	2	～ 29
2017	11	14～ 15	社長の家でチェーンソーで木を切っている時に、細長い枝を短く切ろうと左手に枝を持ち切ろうとした時に雨で濡れていたので手が滑り、左手の薬指に当たり爪を負傷した。	32	136	8	1～ 9
2017	11	14～ 15	境内にて、墓石撤去墓地草止コンクリート工事作業中運搬機でセメントを運搬中、坂を上り始めたところギアの入りが浅かったため、ギアが外れ、運搬機が下がってきて逃げようとしたところ、後方にあったタンクに運搬機が乗り上げ、横転し、キャタピラの下敷きになり、倒れ、右足親指、人差し指、中指、頭部を負傷した。	72	229	6	1～ 9
2017	11	17～ 18	弊社の車庫内で、トラックを車庫に入れて暗がりの中、明日の準備とトラック荷台の清掃をする為、荷台に乗って作業をしていたところ、足元が分からなくなり、荷台から転倒し地面に転落した。	50	221	1	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	資材センター棧木置場において、棧木整理の作業中に?=4mの束ねた棧木15本位を相番（2人）で運搬移動をする際に、地面上に置いてあるバタ角に躓き、後方に棧木を持ったまま転倒した。その時、地面に背中と腰を強打して被災した。	39	417	2	1～ 9
2017	11	18～ 19	資材置場にて、トラックの上でラック上の材料を整頓していたところ、材料が落下した。左足首がトラックの荷台と材料で挟まった。	16	529	4	30 ～ 49
2017	11	13～ 14	社長の指示により、当社の土場（資材置き場）内で、コンクリート基礎工事に使う、「型枠」や「抜き板」を洗浄して、破損材を選別して養生する作業を行っていた時、トラックの荷台に積み置かれた「抜き板」を、結束していたロープを解き、引き抜こうとしたが、抜けなかったため、再度、カー杯、手前にロープを引いたところ、突然、ロープが引き抜け、そのまま勢い余って斜め後方に転倒した。その際、トラックのあおり部分に身体を強打して負傷した。	76	522	2	1～ 9

2017	11	10～ 11	木材を丸鋸で切っていたところ、丸鋸が跳ね返ってきて左手親指に当たり、指が切れた。	38	131	6	1～ 9
2017	11	15～ 16	構内資材置き場で、資材の整理作業中、資材を降ろす時誤って左手指を挟み負傷した。	20	521	7	10 ～ 29
2017	11	22～ 23	受注した製品（家具）の上部を4尺脚立の3段目に乗り吹き付け塗装をしていたが、終わって下に降りようとした時左手で脚立を持ち、身体を支えていたが不十分であったようで足を滑らせ脚立ごと後方に倒れ転倒して左肩付近を打撲した。左肩付近に痛みがあったが、我慢していたが翌日咳をした時痛みがあった為、労災指定の保健医療機関の整形外科クリニックへ行き診察、治療等の行為を受けた。肋骨骨折だと判明した。	42	371	2	1～ 9
2017	11	13～ 14	ボーリングマシンの撤去作業に従事していたところ、ボーリングマシンの下に敷いてあった栈木を取り外す為に間に木製のかましを入れ、空間を作ってから栈木を取り外そうとした。栈木に手をかけた刹那に木製のかましが割れ、ボーリングマシーンと栈木の間に母指を挟んだものである。直ちに病院に搬送し、治療に当たった。	37	149	7	1～ 9
2017	11	17～ 18	G号地新築工場の現場にて、階段室壁面のビニールクロスの必要要尺を採寸中に、階段から足を踏み外し約3メートル下に転落した。肩甲骨付近を強打し骨折したものである。	37	413	1	1～ 9
2017	11	14～ 15	解体工事現場でガス作業中に燃焼物に引火し、顔面を火傷した。	58	513	16	10 ～ 29
2017	11	8～9	クレーン点検中、エンジンオイルが減っていた為、予備のオイルを取ろうと振り返る時に躓いた形になり、左側に倒れ左手を付いた場所にエンジンマフラーがあり、その上に左手をついて負傷（火傷）した。	55	212	11	10 ～ 29

2017	11	16～ 17	仮設材の整備作業をしており、資材を積み重ねている際、持ち上げていた左手が滑り、右手中指を材料で挟み、骨折した。	47	521	4	30 ～ 49
2017	11	17～ 18	ヤード内において、T-439清掃アスファルトのガラを入れたフレコンの上から、片付けのため防災シートで養生しながらフレコン（高さ80cm）から降りたところ、足元の草に隠れていたU字溝（幅20cm、深さ20cm）に左足を突っ込み、その際に足首を捻挫した。当日は、本人から報告が無し。翌朝、当事者から監督に電話で、足が痛いので休んで病院に行くと報告を受けた。	60	418	19	10 ～ 29
2017	11	10～ 11	倉庫内で、バンドソーでLアングルを切断している時に、添え手の右手に付けていた手袋の編み目が刃に引っ掛かり、そのまま巻き込まれ、右手人差し指の爪部分を切断した。	42	159	8	1～ 9
2017	11	9～ 10	仮設ハウスの解体作業中、急にワイヤー（長さ3200mm）で吊るしていたハウスのフックが外れ落下した。支えのため荷の下に腕を入れていたため、落下に巻き込まれて左腕を骨折した。移動式クレーン（ラフタークレーン）	46	212	4	10 ～ 29
2017	11	13～ 14	新庁舎建設に伴う解体工事の為、被災者は当日、手作業で解体工事を担当していた。被災者がダンプの荷台の上から、解体するスレート屋根を突っついて壊していた時、足を滑らして落下し、腰を強打した。	66	221	1	10 ～ 29
2017	11	16～ 17	事務所倉庫の整理の為、古い資材を解体していたところ、木材から出ている釘を左足で踏んだ。	57	379	9	10 ～ 29
2017	11	16～ 17	ビニール張り替えの作業が終わり、足場から高所作業車の枠に足を掛けた為、足を滑らせて転倒した。	48	411	2	1～ 9
2017	12	10～11	高さ3mのパイプに足を掛け、金具のボルト締め作業中、誤って足を滑らせ落下し、両足で着地したが、右足首を骨折した。	38	419	1	1～ 9

2017	12	9~10	ガス発電機室大扉前で、発電機事故発生時の駐車場所を確保するために除雪作業中、路面が凍っていたのに気づかず、左足が滑り、右足に重心をかけて転び、右足首を骨折した。	64	719	7	10 ~ 29
2017	12	11~12	会社管理倉庫における棚卸し作業を終え、現場事務所へ戻るため走行中に、運転を誤り、前方を走行していた軽自動車車両後部に追突した。追突した衝撃により車体が反対車線に飛び出し、反対車線を走行していた大型ダンプトラックと正面衝突をした。追突の衝撃により、右大腿骨・骨盤・肋骨を骨折した。	52	231	17	500 ~ 999
2017	12	11~12	1階便所にて内装解体作業を行っていた時、室内が仮設照明で暗い中で、ピットに通じる床点検口のフタが開いている事の発見が遅れ、右足を突っ込み、反動で転倒し、腰を床に痛打した。腰は痛かったが作業を夕方まで継続し、翌朝あまりに腰が痛いので病院を受診した。	75	416	2	1~ 9
2017	12	11~12	当社事務所敷地内、倉庫内部において年末の大掃除中に資材を整理していたところ、内装用資材がずれて落ちてきて右手中指の第一関節と第二関節の間を挟んでしまい負傷した。	27	611	4	1~ 9
2017	12	14~15	倉庫内でチェーンソーの動作チェックをした際、ひもを強く引っ張り過ぎた為、肘が後ろの壁に当たり、チェーンソーが抱えているひざに落ちて怪我をした。	63	136	4	1~ 9
2017	12	10~11	動物病院の廃棄物回収のため、トラックの荷台で荷物の積み込み作業をしていた。積み込みをした鉄のカゴがすべり落ち、鋭角部分が左大腿部を裂創させた。	33	521	4	1~ 9
2017	12	10~11	空調設備工事において、空調の移設、新規設置を行っていたところ、室外機（40kg~50kg）を階段を使い運んでいたとき、急に腰に痛みが走り負傷したものである。	50	921	19	1~ 9
2017	12	9~10	保温板金をしたものにコーキングをする為、脚立に登りかけた時に脚立の脚の1ヶ所が土の上であり、その場所が沈んだ（右前）。慌てて手前に力を入れたところ、脚立ごと後ろに倒れ、右ひじをコン	53	371	2	1~ 9

			クリート部にぶつけた。				
2017	12	9~10	被災者は、高層棟8Fの南東側建屋内にて床面のガラを片付けようと外壁側に近づいたところ、足元が滑り左足を捻った。足元にはガラが散乱していた。	74	711	19	
2017	12	15~16	出張中、供試体（舗装の耐久性評価のためのもの）作製室で、敷均し装置の清掃作業中、装置内にあるスクリューが回転し、右足を損傷した。	64	391	7	1~ 9
2017	12	10~11	墓所工事で使う木材を自社置き場にてベビーサンダーを使用して加工していた際、カッターがはね、左手を負傷し、作業を中断して病院へ向かった。	40	169	6	1~ 9
2017	12	11~12	清掃の為、残圧の抜き取りをマンホールの微開放にて行っていた所、マンホールを仮止めしていたボルトが外れ、タンクの内残圧により、マンホールが外れ、それにより作業員が転倒し怪我をした。 レシーバータンク開放清掃のための残圧処理に対し、マンホール開放手順に不備があった。レシーバータンクには、残圧抜き取り用の装置は無く、他の安全に残圧を抜き取る手順を誤ったと思われる。 又、マンホール仮止め用ボルトの取り付け方法にも不備があったと思われる。	49	391	6	1~ 9
2017	12	11~12	大掃除中に脚立を使って事務所2階外側の窓清掃をしていたところ、脚立から落下し、右足の踵を骨折した。	33	371	1	10 ~ 29
2017	12	9~10	事務所内、天井付けの蛍光灯清掃時に脚立を使用し、左足を軸足、右足を同じステップへ下げた際にバランスを崩し床面に落下した。	55	371	1	1~ 9
2017	12	9~10	当社資材置き場において、重機を洗浄後、重機のキャタピラ部分から下に飛び降りたところ、近くに敷いてあった鉄板の上の水分が一部凍っていたため、滑ってひねり左足を負傷した。	46	379	3	10 ~ 29
			生コンを打設する現場で、生コンを一輪車にて運搬中、運搬経路が				1~

2017	12	14~15	圧雪され、下り坂で足元が滑り、一輪車とともに右側に傾いて倒れ、右足を被災した。	32	719	2	9
2017	12	9~10	事業所の駐車場で掃除作業をしているとき、2tダンプが止まってしまったので、それを動かそうと後から押していたところ、右足首に痛みがはしり、右アキレス腱を断裂した。	55	221	19	1~9
2017	12	14~15	工場現場内で、配線を移動するときに、梯子を使用し作業していた。梯子の固定が不十分なため、梯子が外れ、3m程の高さから落下し、左足踵を骨折した。	40	371	1	1~9
2017	12	13~14	被災者は、トレーラダンプのオイル交換のため、ピットにて作業をしていた。ピット上の金網を移動させようと持ち上げて移動したところ、足を踏み外して背中から転落し、その際に背中をピットの角で打ち、打撲を負った。	51	418	1	300~499
2017	12	16~17	建方が終わり、屋根の野地板の釘打ち用に垂木の位置を出すために墨打していた。鼻先の方へ向かうとき、足が滑って落ちそうになり自ら飛び降りたが、下がアスファルトだったため足と背骨を折った。	40	415	1	1~9
2017	12	12~13	工場にて、製品加工用機械の部品（長さ約4m、幅約1m、重さ約8t）をクレーンを使用して取り付けていた。玉掛けワイヤーが障害物に当たり、吊っている位置を変更する際、斜面に仮置きしたため、吊り荷が滑り、部品と鉄骨の土台の間に下半身を挟まれた。	31	211	7	10~29
2017	12	16~17	倉庫の整理中、足を滑らせて左足を骨折した。	44	417	2	1~9
2017	12	10~11	外構工事において、RC造のガレージの門部分の左官作業を足場上（高さ約1.6m）で行なっていたとき、横に移動しようとした際に体のバランスを崩し、誤って地面に落ち、左足踝・右足膝および腰部を打ち負傷した。	76	411	1	1~9
			工場構内の過酸化水素エリアにおいて、グラインダーで既設配管の				

2017	12	13~14	切断作業中に、自分の体側より奥に向かって切断を行っていたが、刃が届かず、体勢を変えて切断部が見える位置までしゃがみ切断を始めたところ、刃が食い込んで割れ、その際の衝撃でグラインダーを持っていた手が負け、顔面に直撃した。残水が出ている状態で切断していたため、切断部が見えにくく、切断刃が直径13cmで両サイド近くにサポートがあり固定されていたが、配管径は40Aと小さく、直線部も2m程度でサニタリーの薄い配管であったためすぐに切れると思った。また、保護メガネをしていたので、切粉が目に入らないと思い油断し、顔を近づけすぎた。	29	153	3	1~ 9
2017	12	14~15	当日は、台風で被害を受けたSH21・22号倉庫入口前の荷役場のシートの貼り替え作業と、SH23倉庫屋根シート張り替え作業を5名で行う予定だった。事故が発生した荷役場で、朝から作業を行い、高所作業車2台でシートを貼り替えた。昼休憩後、2名でシートの端部を接着するために、高所作業車でシートの上に上がり、中央部に横移動中、既設シートが破れて7.5m下に墜落した。	39	415	1	1~ 9
2017	12	10~11	敷地内にて、家屋の解体作業中、見通しの良い平坦な場所で、積載物をダンプに載せる（吊る）作業を行っているとき、ミニバックホウのハサミと荷に挟まって、右親指を骨折した。	66	145	7	1~ 9
2017	12	10~11	作業場で製作済配管（150A、11m、145kg）を移動しようとして、ユニックで吊り上げて移動したとき、吊荷が揺れて、横に置いてあったシュートに左手を挟まれ負傷した。	26	212	7	1~ 9
2017	12	15~16	当事業所工場内において、製造後のダクト（1800mm×1000mm×600mm、重さ約6kg）を同僚と工場内を移動させて地面に降ろしていた際、同僚との息が合わずバランスを崩してしまい、ダクトと地面に右手小指を挟み、骨折負傷したものである。	44	521	7	10 ~ 29
2017	12	15~16	二人同時作業にてプレス曲げ加工中、目視にてケガキ線に調整中に、被災者本人が自身の右手に注視して「よし」と発声し、相方がフットスイッチを操作したとき、左手が金型の中に入っていたため	37	154	7	1~ 9

			切断してしまった。				
2017	12	14~15	材料の運搬・積み降ろし中に、足を踏み外して転落した際、単管が落ちてきて当たった。	26	371	1	1~9
2017	12	17~18	工事現場の9階にて、施盤機で鋼管のネジ切り作業をしていた。ネジ切りが完了し、施盤機の電源を切り、惰性で回転している状態でチャックをゆるめたところ、パイプが脱落して斜めに回転してしまったことから、慌てて左手で掴んでパイプを抜こうとしたとき、惰性で回転している状態のまま、パイプと機械の受け金物に左手薬指を挟まれ負傷した。	44	151	7	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html